

「令和5年度 クールジャパン官民連携プラットフォーム 活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」

CJPF 2023 報告書

クールジャパン官民連携プラットフォーム

令和6年3月28日(木)

株式会社リクルート



担当者： 旅行Division 地域創造部 総合企画グループ 総合プロデューサー 北 真理子 (きた まりこ)

住所： 100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー

Tel： 080-2002-2990 / Fax： 03-6772-0217

Emailアドレス： mariko_kita@r.recruit.co.jp

第1章 事業概要P3
・本事業の推進方針	
・本事業の目的・背景	
・令和5年度事業実施にあたっての当社の強み	
・令和5年度の企画ご提案方針	
・CJPFの中長期スケジュール案	
・本事業の実施スケジュール案	
第2章 実施業務詳細	
(1)CJPFにおける各種イベント等の企画・運営・評価に関する調査	
①CJPF LIVEP11
②CJPF AWARDP28
③WOW! BASEP70
④CJPF RADIOP84
(2)CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務	
①CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査P90
CJPFに新たな機能として要求される ア)価値の発掘 イ)発信・共有 ウ)事業創造についての	
具体的推進計画、ならびに各事業のKGI/KPIの提案、実証	
※上記ア)・イ)・ウ)については、(2)①および②において事業を推進	
②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装	
1. 内閣府と CJPF にて実施される各プロジェクトにおけるの事務局業務P117
2. 各プロジェクトの実施主体となるアクティブな人材、企業、教育・研究機関等の提案と名簿作成	
3. 各プロジェクトの管理運営の伴走、報告書の取り纏め	
4. 事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開P122
5. デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援P147
③打合せ及び会議の運営並びに各種報告書の作成P161
第2章 実施業務詳細	
(1)本事業の成果P165
(2)事業の総括と次年度への提言P166

第1章 事業概要



本事業の推進方針

- ◆ 本事業の調査目的を達成するため、実施にあたり、
「これまでのクールジャパン(CJ)の課題やCJ戦略再構築の観点、知的財産推進計画を理解し、本事業の実施内容に落とし込むこと」
「昨年までの調査結果を活かした、事業推進・企画を行うこと」
「CJPFの主要メンバー、CJプロデューサー、会員企業、その他新たに官民の関係者、有識者と連携し、CJPF全体としての機能の高度化を図ること」
の3点を重視して推進した。

本事業の調査目的

- 本調査は「クールジャパン官民連携プラットフォーム」※(以下「CJPF」)における取組の活性化と機能強化を図り、アフターコロナに向けたCJ戦略の再起動と評価検証に資するKGI/KPIを策定するためのモデルケースを策定することを目的とする。
※「クールジャパン官民連携プラットフォーム」CJPF
クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的に、2015年12月に官民・異業種連携の強化を図る場として設立。

仕様書上の要件

- (1) CJPF事業における各種イベントの企画・運営・評価に関する調査
- (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務
 - ・ CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査
 - ・ CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデル)の運営と評価の実装
 - ・ 打ち合わせ及び会議運営、各種報告書作成

調査における必須条件

- ・ これまでのKGI/KPI策定調査業務の成果と課題を踏まえて、令和5年度は、より多くのCJ関係者を巻き込むための効果的な情報発信、分野や地域、世代を超えた人的ネットワークの構築、新たな日本の魅力の発掘・発信に向けたCJ関係者の連携強化、「食・食文化」を中核にした新たな領域の開拓等に配慮し、本調査の価値の最大化に資する提案・実施を行う。

CJPFを軸としたCJ関係者の連携強化
に資するイベント設計

これまでの事業モデル事例の成功パターンを
発見・定義し横展開可能にする

デジタル技術を活用し、CJ関係者が知見の共有や
自発的なマッチング等の活動が行う提言と支援



本事業の目的・背景：クールジャパン戦略を踏まえた基本方針

- ◆ 前頁(P4)、本頁(P5 クールジャパン戦略・再構築・知的財産推進計画 2022)の方針を念頭に、知的財産戦略本部 構想委員会における議論「知的財産推進計画2023」-CJPFの更なる機能強化を重視した事業を遂行するとともに、「知的財産推進計画2024」におけるクールジャパン戦略に関する検討への反映を前提とした提言を実施した。

背景・方針

- 令和元年9月に決定された「クールジャパン戦略(以下「CJ戦略」)」、及び令和3年7月に決定された「クールジャパン戦略の再構築」より我が国のブランド力再興に向けた取組の中心的役割を担うのが「CJPF」である。
また令和4年6月に決定された「知的財産推進計画 2022」では、CJ戦略の再起動のための3つの手法が示され、CJPFには会員や国内外のCJ関係者を広く取り込み、有機的につなげていくことで、分野や地域を超えた緩やかなネットワークを構築する役割が求められている。
本調査は、CJPFにおける取組の活性化と機能強化を図り、これを通じてアフターコロナに向けたCJ戦略の再起動と評価検証に資するKGI/KPIを策定するためのモデルケースを策定することを目的とするものである。

クールジャパン戦略

クールジャパン戦略の再構築

「知的財産推進計画 2022」 CJ戦略の再始動

目的

世界の「共感」を得ることを通じ、日本のブランド力を高めるとともに、日本への愛情を有する外国人(日本ファン)を増やすことで、日本のソフトパワーを強化する。

コロナ後のCJを取り巻く「新たに重視する要素」「強化する要素」を加味する。

CJPFに会員や国内外のCJ関係者を広く取り込み、有機的につなげていくことで、分野や地域を超えた緩やかなネットワークを構築する役割が求められる。

各方針

方向性

- ✓官民、地域間、異業種間の連携強化により幅広い日本の魅力を発掘し、磨き上げる。
- ✓地方や幅広い業種の関与を促す。
- ✓ストーリー化、動画の活用等、デジタル時代に相応しい発信の工夫及び強化を行う。
- ✓外国人の目線を意識する。

- ✓【新たに重視】価値観の変化への対応「自然、エコ、SDGs、安全安心、衛生、健康等」の要素を取り入れ、ストーリー化して発信する。
- ✓【新たに重視】輸出とインバウンドの好循環の構築。アフターコロナを見据え将来のインバウンドへ繋ぐ好循環を構築する。
- ✓【新たに重視】デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの確立
- ✓【強化要素】発信力
- ✓【強化要素】CJ戦略を支えるCJPFの機能強化



- ①サステナブルの視点からの日本の魅力の磨き上げ
サステナブルと親和性が高い日本の行動規範と、日本の文化・歴史・伝統・食・生活などと連携した「共創」。
- ②コミュニティとの共創による海外発信
Web3.0時代におけるデジタル技術やトークン等を活用し、世界にCJの輪を広げるコミュニティを「拡大」。
- ③クールジャパン関係者のマッチングの強化
世界に向け、起点となる日本ファンを増やす活動やCJ関係者が結びつき、互いに磨き合い協働する場の「創造」。



本事業の目的・背景：本年度の狙い

◆ 調査サイト「cjpg.jp」を駆動とした、「体制構築・基礎情報発掘・発信」のフェーズから、CJの深化に向けた官民・異業種連携の強化を図る事業創造の場へ事業活動を強化の上、事業を推進した。



令和5年度 テーマと各企画の位置づけ

常に進化するCJ

ソーシャルリスニング調査

ネットワーク構築(デジタル活用)

成功モデル
CJ方程式の構築

調査サイト「cjpg.jp」の進化
CJPF LAB(コミュニティ)の検証

地域の新たなCJの担い手の発掘
(地域の事業者/自治体・Z世代(学生)・有識者・外国人・企業の繋がり)

成功モデル事例

CJPF LIVE
CJPF RADIO

CJPF AWARD
WOW! BASE

CJ関係者との共創

地域・事業者
共創プロジェクト

他省庁・機関連携

CJプロデューサー
有識者連携

令和5年度 企画の狙い

- ①外国人が考える“クール”を定量的ならびに、定性的に具体的なコメントで捉える
- ②世界における、“食”や“日本”の興味関心の話題を調査する

- ①CJの担い手が自発的に学び、参加できる仕組みの構築
- ②官主導のCJから、民間同士の連携による自律的なCJの構築

CJPFが直接出向くことで、日本の魅力を見出そうとする熱量のある新たな取組や人材のネットワークを構築する

- ①担い手同士による事業創造(共創)の推進
- ②CJPFの活動の協働・共創の場としての持続性の確保
- ③CJ関係者の強みの相互補完によるコミュニティの活性化やマッチングの誘発



本事業の目的・背景：各企画の個別方針

令和5年度
テーマ

事業創造の実現に向けた
CJコミュニティの基盤化の実証

目指す姿 頼られるCJPFの実現

CJPF共創
コミュニティ
サイクル

価値発掘



発信共有



事業創造

コミュニティ化
コミュニティ共創

令和3年度 運営体制構築・基礎情報収集

令和4年度 共創プラットフォーム構築に向けた繋がりの強化

cjpf.jp

※CJP=CJプロデューサー

CJPF LAB

進化・新規

概要: ①CJコミュニティ運営機能装着・基盤化

- オンライン上でも繋がれるコミュニティを形成
…CJ分野での知見や高い興味を持つ地域/法人/個人が繋がれる体制をオンライン上に構築・検証する
- 事業者/地域自治体・他関係省庁共創
…事業活性化を通じて事業共創のノウハウをオンライン上にデータベース化する共創基盤を実装

共創の担い手

CJプロ
デューサー

有識者

地域事業者

研究成果の共有

CJPF 総研

②概要: ノウハウ蓄積・モデル事例型化

- 成功モデル・CJPF成功方程式のフレーム化
…白坂教授との共同研究により成功フレームのキーファクターを型化/横展開を行う
- …型化された成功フレームをコミュニティ(CJPFラボ)や下記ライブ等において、未来の事業者強化に向けて情報を共有・伝播

共創の担い手

白坂教授

CJプロ
デューサー

有識者

コミュニティと接続

総研と接続

CJPF

深化・継続改善

- 「進化するCJ」の調査
…外国人がクールと思うものを的確に捉え、キーワードを活用し、発信。
cjpf.jpと、Twitter発信に活用。
- モデル事例取材
…地域・事業者への調査を継続実施
- CJ認定ブランド発信(認定マーク等)
…Amazonやメディアとの連携を模索
※令和6年度にかけて実施検討

CJPF LIVE

- LIVEの多様化・情報発信の強化
-BBC連携
-地域: 石川県実施
-CJPF AWARD審査員ライブ
-CJPF RADIO
- ① CJPF RADIO
…今期も様々な地域のCJの担い手、CJプロデューサー、他機関(地域/事業者含)との共催でより多様な情報提供を行う

CJPF AWARD

- アワード拡大による共創領域の拡大
- ①「WOW!!BASE!」等との連携
Z世代との共創
- ②食・食文化以外の分野との共創
- ③大阪・関西万博との共創を通じた、メディアやYouTuberを巻き込んだ露出の強化、より広く世界に向けた共創への挑戦
※令和6年度にかけて実施検討

次の世界が見える場所
WOW! BASE



CJPFの中長期スケジュール案

◆ CJPFの取組について、大阪・関西万博を1つの中間ゴールとして、事業創造・発信を準備した。

令和3年度事業	令和4年度事業	令和5年度事業	令和6年度以降事業
～2022年3月	2022年7月-2023年3月	2023年4月-2024年3月	2024年4月-2025年3月
Stage1 運営体制構築	Stage2 共創プラットフォーム構築	Stage3 事業創造の実現	Stage4 事業創造の継続・広報準備
KGI/KPI設計については、指標づくりの検証まで遂行。		目標に向け共創のスタート。再生産できる仕組み化の調査検証へ。	
調査プラットフォーム「cjpg.jp」を新設 3つの機能をエンジンとして駆動 <ul style="list-style-type: none"> CJPF運営体制の構築、戦略方針の確定 KGI/KPIの仮説設定 成功モデル事例ケース選定 成功パターンの定義 共創プラットフォーム・調査ウェブサイト設計 	コミュニティ基盤を構築し、CJ関係者のマッチングを強化 <ul style="list-style-type: none"> CJ関係者、将来のCJ関係者候補となる担い手探し KGI/KPIの指標づくりの検証 成功モデルケース分析の強化 調査サイト「cjpg.jp」のオウンドメディア(発信・共有)の強化 CJ AWARDとCJPF LIVE連携による、オフライン/オンラインの活性化。共同会長、CJプロデューサー、有識者委員と連携 地域自治体やDMO、関係省庁、との連携 	CJPFネットワークの強化フェーズへ。事業創造を促す伴走役としてのCJPFの実現化 <ul style="list-style-type: none"> コミュニティCJPFの設立 伴走型支援力の強化 <ul style="list-style-type: none"> -CJラボ 共創支援 -CJ分野の知見経験の高い法人、個人の誘致(金融、デジタル、料理人、生産者、事業者等) -関係省庁連携 常に進化するCJの調査 CJPFのブランドづくり CJPF AWARD強化 分野・Z世代連携や、CJPF LIVEのネットワーク形成 成功モデル事例の追加 	大阪・関西万博への広報準備 頼られるCJPFの実現 <ul style="list-style-type: none"> 各CJプロジェクトの自走化 共創プロジェクトの推進 事業全体のKGI/KPIの見直しと改善 コミュニティやメディア、SNSでの拡散と海外強化 大阪万博開催に向けた事業創造のCJPFブランド発信 食・食文化以外の、共創・日本の魅力へのモデル展開
3つの機能		本年度	大阪万博に向けた仕上げ期

大阪・関西万博開催

CJPF

としての情報発信・事業創造

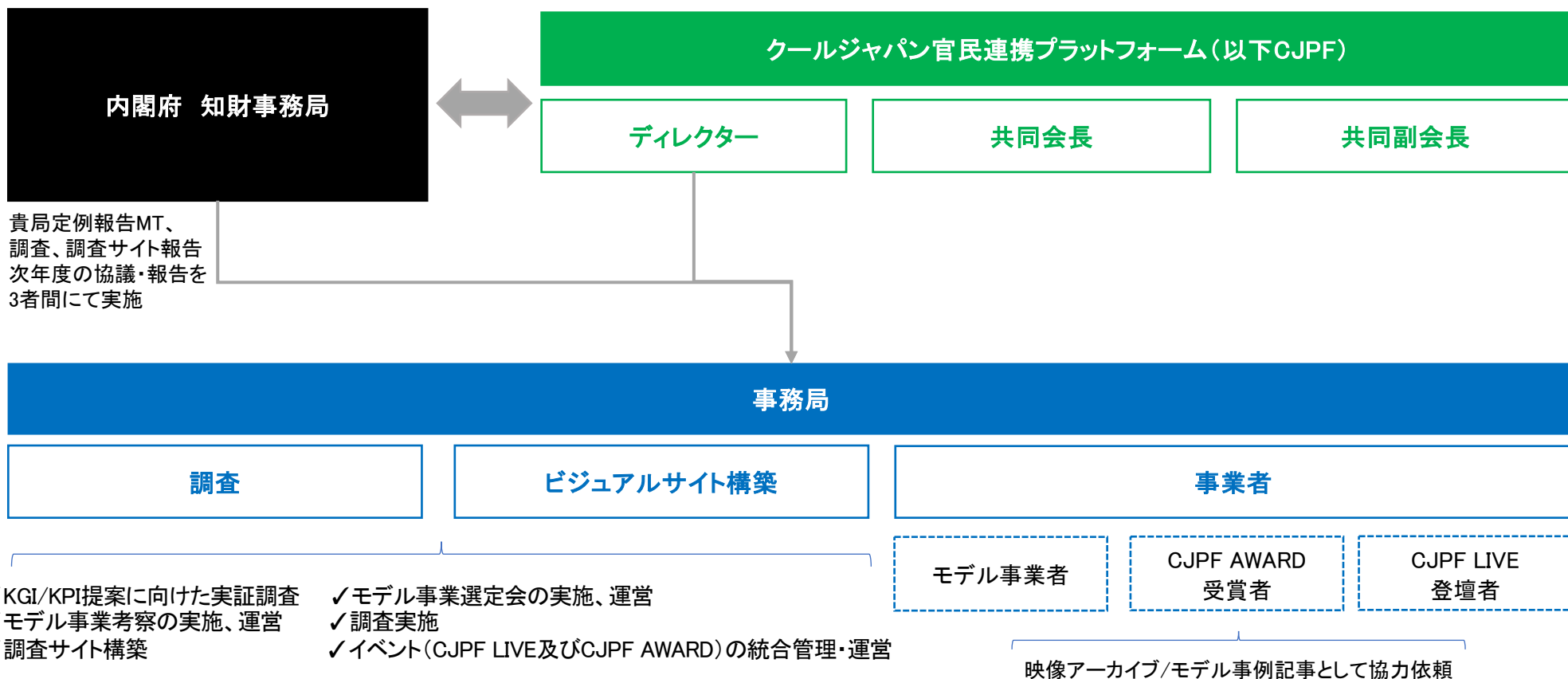
「cjpg.jp」調査サイト





実施体制

◆ 以下体制にて、令和4年度「クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務」の運営及び、モデル事業調査事業、調査ウェブサイト構築、CJPF LIVE及びCJPF AWARD運営を実施した。



第2章 実施業務詳細

(1) CJPFにおける各種イベント等の企画・運営・評価に関する調査

①CJPF LIVE

②CJPF AWARD

③CJPF AWARD – WOW! BASE

④CJPF RADIO

①CJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムの創出 — 「CJPF LIVE」

- ◆ 国内のCJ関係者と外国人有識者が国境を超えて未来を共創できる場「CJPF LIVE」の多様化・情報発信の強化に向けた以下3つの施策を実施。
 - 01.世界との共創:世界中の国々が新しい時代へのシフトを進める中、日本を舞台に世界中のトップシェフが集まり、未来につながるメッセージを発信・共創
 - 02.地域と人の掘り下げ:食・食文化を軸に、現在進行形の「地域の伝統」継承/地域に移住した「よそ者」が生む新しい視点から「ネオトラディショナル」に迫る
 - 03.海外出身者の視点:ナショナルジオグラフィックからも注目される山形・鶴岡/出羽三山の「人」と「地域」の魅力について、海外出身者の視点で探る

パネルディスカッション・外国人視点の地域の魅力を収録し「cjpf.jp」及び「YouTube」にて配信

01.世界との共創: BCC(バスクキュリナリーセンター)

テーマ

世界で最も影響力がある国際顧問シェフと連携し、食を通じた日本のポテンシャルを探る。



収録 2023年6月7日 PV 176回 *

#BCC #ガストロノミー #日本の食の可能性

#食の変化 #食×テクノロジー #ダイアログ

#明治神宮 * 2024年3月時点

02.地域と人の掘り下げ: 石川(金沢/能登)

テーマ

受け継がれる伝統、新たな視点が生む革新から生み出される「ネオ・トラディショナル」。



収録 2023年11月22日 PV ※震災により年度末公開

#伝統の継承 #伝統のサステナビリティ

#伝統工芸 #移住者が生む革新 #地域の食

#地域の人

03.海外出身者の視点: 山形(鶴岡/出羽三山)

テーマ

海外出身の方々の視点で、日本人の気づかない地域の魅力を海外に発信していく。



収録 2023年10月17日～2023年10月19日 PV ①3,174回 ②2,491回 *

#地域の魅力 #海外出身者の視点

#ナショナルジオグラフィック #スピリチュアル

#自然と精神文化の共存 * 最速で過去最高レベルの視聴数を記録(2024年3月時点)



①CJPF LIVE：01.世界との共創「BCC（バスクキュリナリーセンター）」 1)企画概要

テーマ 世界で最も影響力がある国際顧問シェフと連携し、食を通じた日本のポテンシャルを探る。

日時場所 日時: 2023年6月7日
場所: 東京都渋谷区・明治神宮

概要

■全体概要
スペイン王国バスク政府とバスク・キュリナリー・センター(Basque Culinary Center * 略称BCC)により2016年に設立された「バスク・キュリナリー・ワールド・プライズ(BCWP)」とCJPFで連携し、全世界のシェフを対象とした教育、健康、研究、持続可能性、社会的起業家精神、慈善活動、地域文化の保存など様々な領域における表彰事業とダイアログを通じた日本の魅力CJの可能性を広げる活動を実施。世界で最も影響力があり関連性の高い国際顧問シェフと連携し、グローバル社会に対する食を通じた日本のポテンシャルを共創した。

■国際的な権威あるシェフとの連携
BCC年次会議では、ボードメンバーである国際顧問がさまざまな国に訪れサミット会議を開催。世界で最も影響力があり関連性の高いシェフを国際顧問により構成されてる。戦略的な問題についてBasque Culinary Centerに助言し、世界中のセクターの現実を結び付けている。今回は世界各国からトップシェフが来日しセッションを繰り広げた。

■明治神宮と連携をしたBCWP ジャパン・サミットの開催
日本は国土の70%近くが森であり、自然と人が共存する国である。2023年に鎮座103年目を迎えた明治神宮は、広大な森を有し、東京という大都会に位置しながらも豊かな自然に囲まれている。日本全国からの献木およそ10万本が植栽された人工林を大切に育てながら保っている明治神宮は、人類と自然の共生関係を示す優れたモデルであり、今回のサミットの会場とする事に大きな意義があると考えます。世界中の国々が新しい時代へのシフトを進める中、日本を舞台に世界中のトップシェフが集まり、未来につながるメッセージを発信する場を共創した。

ゴール ダイアログを通じた日本の魅力、CJの可能性を広げていく。世界で影響力がある国際顧問シェフを起点に、食を通じた「日本のポテンシャル」を グローバル社会に発信していく。

想定視聴者

- ・食の視点から世界に向けて、地域の魅力を発信している、もしくは事業を考えられている関連事業者様、機関
- ・日本食の特色を通じて、日本の魅力を知りたい方、訪問したい方(特に海外の事業者)

①CJPF LIVE : 01.世界との共創「BCC (バスクキュリナリーセンター)」 2)登壇者

◆ BCC年次会議では、ボードメンバーである国際顧問がさまざまな国に訪れサミット会議を開催。世界で最も影響力があり関連性の高いシェフを国際顧問として構成。戦略的な問題についてBasque Culinary Centerに助言し、世界中のセクターの現実を結び付ける。今回は世界各国からトップシェフが来日しセッションを繰り広げた。

BCC(Basque Culinary Center)概要

スペインのバスク地方のサンセバステアンの本拠を置くバスク料理センターは、モンドragon大学と著名なバスクシェフのグループによって、料理部門の発展を目的としたトレーニング、研究、革新プロジェクトとして2009年に設立された料理財団。料理を経営、科学、その他の分野と関連付けるという考えを持っている。毎年、各国で行われる年次総会の中で「BCWP(Basque Culinary World Prize)」として、世界中のシェフを対象とし、教育、健康、研究、持続可能性、社会的起業家精神、慈善活動、地域文化の保存など様々な分野において、ガストロノミーによって変革をもたらし、めざましい業績をあげたシェフに贈られる。



basque
culinary
center



ゲスト略歴



スペイン・ジロナ 出身
 Madrid Fusionにて選出された「世界で最も影響力あるシェフ」
 2015年Best 50 No.1。ミシュラン3つ星。

BCC顧問委員会 委員長
 ジョアン・ロカ



アメリカ・サンフランシスコ 出身
 Madrid Fusionにて選出された「世界で最も影響力あるシェフ」。ミシュラン3つ星。世界の女性シェフを代表する一人。

BCC顧問委員
 ドミニク・クレン



アルゼンチン ペノスアイレス 出身
 "Latin America's Best Female Chef"にも選出された女性シェフ。

BCC顧問委員
 ナーダ・レバス



メキシコ・メキシコシティ出身。
 メキシコで最もカリスマと才能を持つシェフ。2017年度 バスクキュリナリー ワールドプライズ、メキシコシティ・メキシコでのホストシェフ。

BCC顧問委員
 エンリケ・オルベラ



ペルー・リマ 出身
 Madrid Fusionにて選出された「世界で最も影響力あるシェフ」
 アストリッド&ガストンを含む世界中に40を超えるレストランを持ち、慈善活動にも力を注いでいる。ペルーを代表する料理人。

BCC顧問
 ガストン・アクリオ



ブラジル・サンパウロ 出身
 Madrid Fusionにて選出された「世界で最も影響力あるシェフ」
 ブラジルを代表する料理人。

BCC顧問委員
 アレックス・アタラ



フランス・オーブラック 出身
 Madrid Fusionにて選出された「世界で最も影響力あるシェフ」。ミシュラン3つ星。自然から料理を創作する料理人と称される、21世紀のフランス料理界を代表する一人。

BCC顧問委員
 ミッシェル・ブラス



イタリア・モデナ 出身。
 Madrid Fusionにて選出された「世界で最も影響力あるシェフ」の一人。2018年Best 50 No.1。ミシュラン3つ星。2018年度 バスクキュリナリー ワールドプライズ、モデナ・イタリアでのホストシェフ。

BCC顧問
 マッシモ・ボットゥーラ



①CJPF LIVE：01.世界との共創「BCC（バスクキュリナリーセンター）」 3)プログラム概要

◆ 2023年に鎮座103年目を迎えた明治神宮は、広大な森を有し、東京という大都会に位置しながらも豊かな自然に囲まれている。人類と自然の共生関係を示す優れたモデルであり、今回のサミットの会場とする事に大きな意義があると考えた。世界中の国々が新しい時代へのシフトを進める中、日本を舞台に世界中のトップシェフが集まり、未来につながるメッセージを発信する場を共創した。

BCWP全体概要

BCWPホスト

NARISAWA 成澤由浩

BCCのアジア代表国際顧問。日本の里山にある豊かな食文化と先人たちの知恵を探求し、自身のフィルターを通して料理で表現する“Innovative Satoyama Cuisine”イノベティヴ里山キュイジーヌ“(革新的 里山料理)を理念にNARISAWA独自のジャンルを確立。自然への敬意を込め、心と体に有益で、環境に配慮した持続可能な美食“Beneficial and Sustainable Gastronomy”を発信し続けている。



6月4日(日曜日)

- ・東京到着
- ・宿泊先：日本青年会館
- ・夕食：BEES BAR by NARISAWA

6月5日(月曜日)

- ・富山移動
- ・IWA白岩の酒蔵到着
- ・BCWP (2時間)
- ・酒蔵にて昼食
- ・BCWP (2時間)
- ・栢田酒造訪問

6月6日(火曜日)

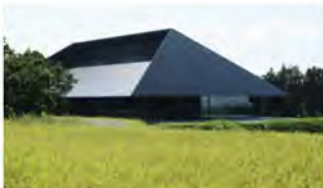
- ・氷見漁港見学
- ・氷見魚市場にて朝食
- ・東京に移動
- ・NARISAWAで夕食

6月7日(水曜日)

- ・ジャパン・サミット
- JINEN (昼食込み)
- ・開催場所：明治神宮
- ・夕食：BEES BAR by NARISAWA

6月8日(木曜日)

- ・帰国 / 個人日程



BCWPプログラム

BCWP プログラム

- ・成澤由浩オープニング 挨拶
- ・ホゼ・マリ・アイゼガ 挨拶
(BCCとは・ボードメンバーの役割・VTR)
- ・BCWPの意義 ジョアン・ロカ&エレナ・レイガダス & マヌ・プファラ & ビトール・オロズ
- ・サミットテーマ1～変わりゆく時代～
ガストン・アクリオ & ジョアン・ロカ & リシャール・ジェフルワ & ミッシェル・プラス (video出演)
- ・サミットテーマ2～新たな時代の足音～
ジョッシュ・ニールランド & エレナ・レイガダス
- ・サミットテーマ3～生きる生態系～
ナルダ・レベス & ピア・レオン & 成澤由浩
- ・サミットテーマ4～未来へのカウントダウン～
トリネ・ヘイネマン & ドミニック・クレン
トナ・ティティツ・タッサナカーチョン
- ・サミット総括 (全登壇者ON STAGE) ～料理人のこれからの役割～
- ・クロージング

jinen





①CJPF LIVE : 01.世界との共創「BCC (バスクキュリナリーセンター)」 4)掲載内容

- ◆ Future Food Design of Japanシリーズとして「世界のシェフと共創する食の未来」ダイジェスト編を含む4本の映像を制作。YouTubeにて公開。
- ◆ 「cjpf.jp」にはダイジェストを含む、明治神宮でのBCWPの様様をレポートした記事と映像を「CJPF LIVE」カテゴリに掲載。

Future Food Design of Japan・映像



CJPF LIVE 掲載記事



①CJPF LIVE：02.地域と人の掘り下げ：CJPF LIVE石川（金沢/能登） 1)企画概要

テーマ

伝統の継承が生み出す地域固有の魅力。移住者や異分野の視点が生み出す新しい地域の魅力。
～伝統と革新。サステナブルな日本の食・地域の魅力が生まれる地域、石川県に迫る

日時
場所

日時：2023年11月22日
場所：石川県金沢市・玉泉院(兼六園併設)

概要

石川県が位置する、三方が海に面する能登半島では、古くから盛んに大陸との文化交流が行われた。金沢エリアは、前田利家の「加賀藩」の誕生を起点に、歴代藩主が江戸や京都から名工や文化人を招き文化奨励策を推し進めたこともあり、全国有数の文化都市に。江戸の武家文化と京都の公家文化が融合した、日本を代表する多くの伝統工芸や文化が栄えている。能登エリアは、歴史を遡れば北前船の海上交通の要所であり、古くから情報や物が集まる歴史を持っている。豊かな自然も残されており、「能登の里山里海」は、2011年に国内初となる世界農業遺産に認定された。国指定伝統的工芸品は輪島塗、金沢箔、加賀友禅など10品目。さらに「茶道・華道をたしなむ人」が全国1位など、茶の湯文化が栄え、京都、松江とともに「日本三大菓子処」と呼ばれており、古くから文化が交差してきた石川県の歴史を垣間見ることができる。また、2022年には県外からの移住者が過去最高となるなど、コロナ禍によるライフスタイル/ワークスタイルの変化によって新たな視点をもった人材の流入も活発化しており、特に能登エリアでは新たなカルチャーが生まれる兆しもある。歴史的背景に繋がりを持ち、形を変えながらも現代に受け継がれる「伝統」。そして新たな移住者が、新たな視点で想像・創造する「革新」。過去も現在も、文化や人の交差から新たな価値や魅力が生み出される石川で、未来に向けたサステナブルな「日本の魅力ークールジャパン」の可能性を探った。

◆第一部：伝統から革新へ。石川の「ネオトラディショナル」が創造する、サステナブルな地域の魅力・日本の魅力。
ゲスト：地域に受け継がれる金沢箔など伝統工芸分野の作家、食の職人、地域の魅力を世界に伝えるアンバサダーなど石川の「トラディショナル」を引き継ぎ「新しい風」を体現する「ネオトラディショナル」登壇者を招聘した。

◆第二部：Outsider(第三者/門外漢)が切り開く、地域の可能性。食と食文化の可能性。
ゲスト：石川の魅力を新たな目線で磨き上げている事業者、外国人活躍者、地域創生で活躍する方地域外/専門外の視点から、新たな石川の魅力を創造し発信している「Outsider(第三者/門外漢)」に焦点を当てた登壇者を招聘した。

ゴール

日本の地域の歴史が生み出した、文化・精神性の魅力の認識や、未来の新しい価値をどのように創出していくことができるかという事例の共有を通じて、新しい価値を地域が主体となって生み出す可能性を探った。

想定
視聴者

- ・歴史、文化・精神性、食の視点から地域の魅力を発信したり、事業を考えられている関連事業者様、機関
- ・日本の地域、文化、歴史、食の特色を通じて、日本の魅力を知りたい方、訪問したい方

①CJPF LIVE：02.地域と人の掘り下げ：CJPF LIVE石川（金沢/能登） 2)登壇者








◆ 第一部は地域の伝統をを引き継ぐ登壇者、第二部は地域外/専門外の視点から新たな石川の魅力を創造し発信している登壇者をゲストに迎えた。

登壇者略歴

進行



モデレーター: 渡邊賢一氏(第一部・第二部共通)

第一部ゲスト	美術 食		裏千家今日庵 業躰 奈良宗久氏 父・十代大樋陶冶齋に師事し美術、工芸活動を開始(日展等に出品)。茶道裏千家今日庵に入庵。茶名「宗久」にて茶道普及、国際親善、金沢茶道教場等に携わる。
	工芸		箔座株式会社 代表 高岡美奈氏 金箔職人の家を継ぐ。金箔づくりは、「リサイクル」が基礎との考えから、循環型、サステナブルな金箔づくりと技を食・器などへ残していくことを重きに事業を展開。
	酒		車多酒造 車多一成氏 文政6(1823)年創業の蔵元「車多酒造」は、山廃造りの代名詞。北陸を代表する日本酒「天狗舞」を醸造。古さ/新しさを融合したCraft sake shop「mau」も展開。
	食		銭屋 高木慎一郎氏 2008年に2代目主人に就任。2015年「料理マスターズ」受賞。2016年ミシュラン二つ星獲得「ルレ・エ・シャトー」に加盟。2017年「日本食普及の親善大使」に任命。
第二部ゲスト	食 × 技術		金沢まいもん寿司 代表 木下孝治氏 高付加価値回転寿司を通じて、新たなSUSHIの魅力、テクノロジーを通じ、日本の魚の魅力を世界に発信。
	食 × 地域		Eaufeuオーフ シェフ 糸井章太氏 辻調理師専門学校卒。料理コンペティション「RED U-35」で、史上最年少グランプリ受賞。日本遺産・観音下で廃校小学校をオーベルジュとし里山料理を世界に提供。
	食 × 海外		ふらっと ベンジャミン・フラット氏/船下智香子氏 能登町で22年、地元の新鮮な旬の素材と手づくりの発酵調味料や発酵食を使った、その土地らしい料理を楽しめる宿を経営。国内・海外からも多くの人が訪れている。

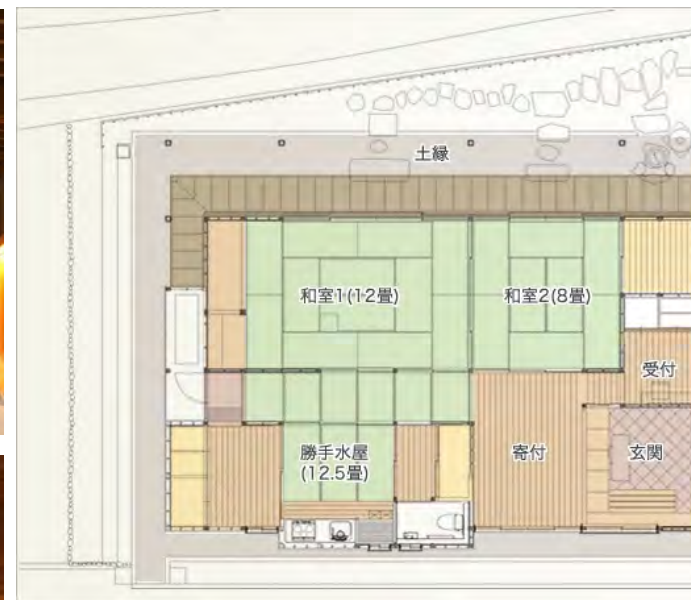
①CJPF LIVE : 02.地域と人の掘り下げ : CJPF LIVE石川 (金沢/能登) 3)会場概要

◆ 兼六園に隣接する金沢城公園内、江戸時代に露地役所あった場所に 復元された「玉泉院丸庭園」にて収録を実施。

会場イメージ



会場図面





①CJPF LIVE：02.地域と人の掘り下げ：CJPF LIVE石川（金沢/能登） 4)構成台本・本番投影資料

- ◆ 構成台本を準備し構成の事前確認・撮影会場の入念な下見を行なった上で本番に臨むことで、追加収録時間のないスムーズなライブ運営を実施。
- ◆ YouTube等での視認性の向上を目的に、事務局にて登壇者のスライドを刷新し、全ゲストのスライドを作成。

構成台本

CJPF LIVE 石川：第一部 進行・構成案 CJPF 2023

第一部テーマ：伝統から革新へ、石川の「ホストナレッジシステム」が創造する、サステナブルな地域の魅力・日本の魅力。

第二編進行

第一部：思いがけない発見や感動

30分 10分 10分(10分+4分) 10分(10分+4分) 10分

ゲスト紹介と挨拶
ゲストスライドの読み上げ

登壇者自己紹介
石川を語る
(10分+4分)

第一部①
伝統が伝える価値と
その継承
第一部②
「伝統」がサステナブルな
事業に結びつく価値

ゲストによるフリートーク
ゲストによるフリートーク

●ゲストによる自己紹介 ●ゲストによるフリートーク ●ゲストによるフリートーク ●ゲストによるフリートーク ●ゲストによるフリートーク

CJPF LIVE 石川：第一部 進行・構成案 CJPF 2023

第一部テーマ：伝統から革新へ、石川の「ホストナレッジシステム」が創造する、サステナブルな地域の魅力・日本の魅力。

進行のプログラム

オープニング(番組説明)

15分

登壇者自己紹介
登壇者挨拶
登壇者自己紹介

高岡 美奈
1971年金沢生まれ。
父親の「酒を愛する家」を追い継いで育つ。
大学卒業後は東京の会社員へ入社。
2年半の勤務を終え独立へ入社し、東京営業所を立ち上げ、
酒の楽しさを、今の暮らしの中に感じる魅力あるものとして
全国を巡り「上アッパー・リー・システム」などを展開。
2018年に石川の4年産地「酒造」を創業日本酒メーカーオープン。
2017より事業を継承し、酒造の代表取締役を務める。

高岡 美奈
酒造株式会社・高岡製菓株式会社
代表取締役社長

CJPF LIVE 石川：第二部 進行・構成案 CJPF 2023

第二部テーマ：内閣の視点 (Outsider) (第三者) /新しい視点で切り開く、地域の可能性、食と食文化の可能性。

第二編進行

第二部：思いがけない発見や感動

30分 20分 10分(10分+4分) 10分

ゲスト紹介と挨拶
ゲストスライドの読み上げ

登壇者自己紹介
石川の食文化に
関わることにちなみ
(10分+4分)

第二部①
食の未来と食文化の
可能性

第二部②
石川の食文化と
食の未来

ゲストによるフリートーク
ゲストによるフリートーク

●ゲストによる自己紹介 ●ゲストによるフリートーク ●ゲストによるフリートーク ●ゲストによるフリートーク ●ゲストによるフリートーク

CJPF LIVE 石川：第二部 進行・構成案 CJPF 2023

第二部テーマ：内閣の視点 (Outsider) (第三者) /新しい視点で切り開く、地域の可能性、食と食文化の可能性。

進行のプログラム

オープニング(番組説明)

15分

登壇者自己紹介
登壇者挨拶
登壇者自己紹介

車多 一成
1956年7代目 車多酒造社長(八代目)
1985年オーストラリア生まれ。
13歳の頃から父親のレストランの手伝いを始めて料理に親しみ、
シドニーで多アフレタランシオンへジョブで入社。
船子習志子さん(奥様)と出会い日本へ帰す。
ご両親から「いりり」「こんかいりし」「ひねりし」など
数度の郷土料理、肉類食品のつくり方をコツコツ学び、
1997年「能登イタリアン」を開設。食の楽しさを伝える。
20年を超える肉類食品の経験を活かし、
高校生への指導なども行っている。

車多 一成
車多酒造 社長 (八代目)

本番資料

プロフィール CJPF LIVE

高岡 美奈
1971年金沢生まれ。
父親の「酒を愛する家」を追い継いで育つ。
大学卒業後は東京の会社員へ入社。
2年半の勤務を終え独立へ入社し、東京営業所を立ち上げ、
酒の楽しさを、今の暮らしの中に感じる魅力あるものとして
全国を巡り「上アッパー・リー・システム」などを展開。
2018年に石川の4年産地「酒造」を創業日本酒メーカーオープン。
2017より事業を継承し、酒造の代表取締役を務める。

高岡 美奈
酒造株式会社・高岡製菓株式会社
代表取締役社長

プロフィール CJPF LIVE

奈良 宗久
1959年金沢生まれ。
玉川大学基礎科在学中から父で十代大橋陶治家へ師事。
美術、工芸作家活動を経て日職。
日本現代工芸美術展(前入選時最年少入選)にて出品を重ねる。
東京造形大学美術系に在学中に奨励を受け
東京美術大学美術科を修了。卒業生として今日に入職。
2002年(平成14年)以来「個人」を展覧する主要美術展より頻りに。
イタリアを中心に海外にての美術展覧会や
ドイツ国立アジア美術館 展覧会観覧など
茶室訪問、展覧など活動は多岐にわたる。

奈良 宗久
一般財団法人 萬千堂
今日庵美術館(正教授)

プロフィール CJPF LIVE

車多 一成
1956年7代目 車多酒造社長(八代目)
1985年オーストラリア生まれ。
13歳の頃から父親のレストランの手伝いを始めて料理に親しみ、
シドニーで多アフレタランシオンへジョブで入社。
船子習志子さん(奥様)と出会い日本へ帰す。
ご両親から「いりり」「こんかいりし」「ひねりし」など
数度の郷土料理、肉類食品のつくり方をコツコツ学び、
1997年「能登イタリアン」を開設。食の楽しさを伝える。
20年を超える肉類食品の経験を活かし、
高校生への指導なども行っている。

車多 一成
車多酒造 社長 (八代目)

プロフィール CJPF LIVE

ベンジャミンフラット
ふらっとシェフ
1985年オーストラリア生まれ。
13歳の頃から父親のレストランの手伝いを始めて料理に親しみ、
シドニーで多アフレタランシオンへジョブで入社。
船子習志子さん(奥様)と出会い日本へ帰す。
ご両親から「いりり」「こんかいりし」「ひねりし」など
数度の郷土料理、肉類食品のつくり方をコツコツ学び、
1997年「能登イタリアン」を開設。食の楽しさを伝える。
20年を超える肉類食品の経験を活かし、
高校生への指導なども行っている。

ベンジャミンフラット
ふらっとシェフ

プロフィール CJPF LIVE

糸井 章太
1992年京都府生まれ。
調理師専門学校へ進学後、系列のフランス校に留学。
アルプスの3つ星レストラン「オーベルジュ・ド・リール」、
ブルゴニの3つ星レストラン「タルムーズ」を経て、
「メゾン・ド・ジャック」で研修を積み、
35歳以下の若手料理人と対した日本最大級の料理人コンペティション
「RED U-S」で、史上最年少の当時26歳でグランプリを受賞。
アメリカ「マンチン」(フレンチレストラン)で研修を積み、
2022年7月より石川(能登)に「オーベルジュ・オーフ」シェフに就任。
「ゴ・エ・ミル 2023」にて
「期間限定シェフ賞」を受賞。

糸井 章太
オーベルジュ・オーフ
シェフ

プロフィール CJPF LIVE

木下 孝治
1951年、金沢生まれ。
大手ハウスメーカーの建築設計事務所等での勤務を経て、
父の工場を継ぎ1978年に木下建築デザインを立ち上げ、
1994年に株式会社へ移行。産地に回帰し自営を再開。
1999年に株式会社エムアンドケイを創設し現在に至る。
2005年、業界の発展を促す「金沢いんもん博覧会」を企画。
加賀や石を想わせる建築職能をデザインに取り入れ、
新しい日本の食の魅力を伝える高級旅館で存続を続け、
現在は全国で30を超える店舗を展開している。
2020年に台湾に「金澤美味博覧会」を開設。
今様の有明市場での事業展開を確立計画中。
世界へ「本物のSUSHI」を届ける
活動にも注力している。

木下 孝治
株式会社エムアンドケイ
代表取締役

①CJPF LIVE : 02.地域と人の掘り下げ : CJPF LIVE石川 (金沢/能登) 5)掲載内容

◆ CJPF LIVE石川の第一部・第二部の映像を制作し、YouTubeにて公開。また「cjpf.jp」にはCJPF LIVE石川の模様をレポートした記事/映像を掲載。

CJPF LIVE石川 第一部・第二部 映像



CJPF LIVE石川 掲載記事





①CJPF LIVE：03.海外出身者の視点：CJPF LIVE キャラバン山形（鶴岡/出羽三山） 1)企画概要

テーマ

海外出身の方々の視点で、日本人の気づかない地域の魅力を海外に発信していく。

日時 場所

日時：2023年10月17日～10月19日
場所：山形県酒田市 鶴岡市

概要

■目的

より外国人目線・現地重視の取組「CJPF LIVE キャラバン」を推進する

日本人を主体とした情報収集・情報発信を行なっていたが、海外に向けての「CJ」の発信するため、以下の2点を前提にCJPF LIVE キャラバンを実施した。

- ①日本人ではなく、海外出身の方の視点で地域の魅力となる資源を捉える
- ②地域に直接伺い、取材・撮影を行った上で映像コンテンツ化を行う

■地域

Deep Japanとして訪日外国人が注目する山形・庄内の魅力を外国人目線で抽出

National Geographic「Top five spiritual adventures in Tohoku, Japan」での露出や、海外YouTuberの紹介もあり、自然や観光スポットだけでなく、精神文化に関連する「Deep Japan」に興味を持つ訪日外国人の訪問が増加傾向にある。そこで、日本のブランド価値である「CJ」は、外国人の目にどのように映るのか、どのようなポイントに興味を惹かれるのか等、今後増大する訪日外国人に向けた魅力の磨き上げとなる情報の収集・発信を実施した。

■コンテンツ

日本の精神文化を感じる・・・日本独自のスピリチュアルな体験、山伏文化を外国人目線で体験し、その意味合いや歴史との関連を紹介。
日本の自然を感じる・・・出羽三山や周辺の自然を外国人目線で巡り、庄内の歴史や自然、精神文化との繋がりを体験/紹介。
日本の伝統文化・食文化を感じる・・・庄内の文化に根ざした宿泊施設であるスイデンテラス、精進料理を体験/紹介。歴史との繋がりを紹介。

ゴール

日本人ではなく、海外出身の方の視点で地域の魅力となる資源を捉え、地域に直接伺い、取材をさせていただき映像コンテンツ化。

想定 視聴者

- ・日本の地域、文化、歴史、食の特色など、日本に興味を持ち訪問したい海外の旅行者
- ・歴史、文化・精神性、食の視点から地域の魅力を発信したり、事業を考えられている関連事業者様、機関



①CJPF LIVE：03.海外出身者の視点：CJPF LIVE キャラバン山形（鶴岡/出羽三山） 2)登壇者

◆ 海外出身者の視点で巡る登壇者だけではなく、現地コーディネート、撮影編集も海外出身者との共創により映像を制作。

略歴

登壇者



コチュ・オヤ氏

株式会社Oyraa 代表取締役社長/CJプロデューサー

1986年トルコ生まれ。2006年に初来日。2013年、東京大学大学院工学系研究科を卒業後、ボストンコンサルティンググループに入社。17年、株式会社Oyraaを創業し、遠隔通訳サービスの提供を始める。英語、トルコ語、日本語に堪能。

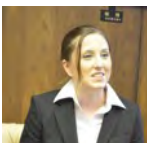


ダコスタ・レティシア氏

Japan Experience株式会社所属/CJプロデューサー

フランス出身。パリの学校と日本間で交換留学があり来日。2011年にフランスに本社を持つ旅行代理店Japan Experienceに入社。日本支店の設立メンバーとして、現地とのパートナーシップの構築、商品開発などを担当し、プロダクト・マネージャに就任。

現地調整

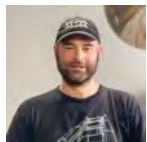


ミヨ・サラ・ラッシュェル氏

DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー事業課係長

フランス・スクラン市出身、鶴岡市在住。一般社団法人「DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー」事業課係長。外国青年招致事業「JETプログラム」で再来日。鶴岡市でインバウンド観光事業、外国語刊行物の編集・翻訳・監修などを担当後、2020年よりDEGAMにて旅行商品の開発、観光情報提供などを行う。

撮影・編集



クリス・モア氏

株式会社move-ment代表

バイリンガルに対応し、みんなのストーリーを中心に。いつもと少し違う視点から映像を創り上げる。企業をPRする映像に加えて、私たちは外国人をターゲットにした自治体の地方創生インバウンドPR、移住促進・UJIターン映像、国連機関や大学といった非営利団体の映像と写真を得意とする。



カール・バン・ウェイク氏

クリエイティブディレクター

ADKインターナショナル、DDB Japanなどを経てフリーのクリエイティブディレクターに。映像制作、コピーライティングを中心に、地域のブランド化、キャンペーンなどのプロジェクトに携わっている。



①CJPF LIVE：03.海外出身者の視点：CJPF LIVE キャラバン山形（鶴岡/出羽三山） 3)撮影事業者

◆ 北前船で栄えた歴史の発端「酒田港」のある酒田市から、出羽三山のふもと鶴岡市まで、山形の自然と歴史、精神文化のつながりの取材・撮影を実施。

酒田市

みなと市場
(酒田港)



山王くらぶ
(傘福体験)



鶴岡市

スイデン
テラス
(宿泊)



すず音



パー
ホッピング



知憩軒
(鶴岡料理)



大進坊
(宿坊)



湯殿山神社



羽黒山



齋館
(精進料理)





①CJPF LIVE：03.海外出身者の視点：CJPF LIVE キャラバン山形（鶴岡/出羽三山） 4)絵コンテ・台本等

- ◆ 山形・酒田市/鶴岡市についての事前インプット資料を作成することで、登壇者がある程度歴史について理解した状態で撮影に臨めた。
- ◆ 絵コンテおよび台本を準備し、現地での変更にも対応できる体制で撮影に臨むことができ、最終的な仕上がりも相互認識が持てる進行となった。

事前インプット資料

絵コンテ・台本

ムービー収録のコメント：事業主体の説明、撮影の留意について

①本人の自己紹介
・CJPFアドバイザー（もしくはアドバイザー）として紹介

文化について
・CJPFは地域の魅力を発信する事業であること
・世界に誇る日本の文化、伝統の国際展開を推進する事業であること
・海外の「日本ファン」を呼び出し、日本のソフトウェアやブランド力を高め、日本全体を活性化していくことを目指していること

②今回の目的
・国際的な視点から魅力を発信し、実際にライブで日本の魅力を体験すること
・日本の文化（伝統文化・食文化）の魅力を、海外出身の方の目線から伝えていくこと

③出演について
・各から山形県産品や、自然と結びつく独自の精神文化を形成してきたこと
・江戸時代、立派な藩政として歴史を積み重ねた藩政を持つこと
・近年では山形メリアから出羽三山の自然が生み出し、毎日観光客が増加。グリーンアーツやアートベンチャーアーツももたらした。情報発信など「ライブで日本」に触れられる地域として注目されていること

④お二人の役割への期待

機材準備
①学芸科関係者へのインタビュー撮影、3人での撮影
②機材準備：機材科関係者の活用を依頼
③機材科関係者の活用、基本の機材（カメラ）の準備
④機材科関係者の活用：撮影の準備、撮影の準備

インタビュー「食」と「伝統」の結びつき、日本版「バーガン」機材科について
①機材科の発展、山形の観光とつながりやその歴史
②食の発展と機材科、基本の機材（カメラ）の活用
③機材科の発展と機材科の活用

体験型コメント
①機材科関係者すべてで機材科の活用
②食と機材科の発展、機材科と食文化の結びつきについて
③海外出身の方から見た、機材科のユニークなポイント



①CJPF LIVE : 03.海外出身者の視点 : CJPF LIVE キャラバン山形 (鶴岡/出羽三山) 5)掲載内容

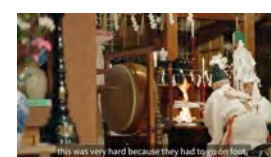
- ◆ 酒田市～鶴岡市の行程を鶴岡の食文化・新しい文化に触れる「Part1」として公開。出羽三山の行程を山形の自然と精神文化を巡る「Part2」として公開。
- ◆ 公開後、CNN日本版の番組内にて、同コンテンツのCM版を作成して放映。YouTubeの視聴回数も、最短期間で過去最高に迫る視聴回数を記録した。

CJPF LIVE キャラバン山形

Part1



Part2



CNN j(日本版ケーブル方向)への出稿



右記の放送枠にて
CMを配信

放送局	放送日	曜日	放送時間	CM枠	放送尺	番組名
CNNj	2024年3月4日	月	6:13:01	SB	60S	CNNニュースルーム
CNNj	2024年3月5日	火	22:22:25	PT	60S	CNNニュースルーム
CNNj	2024年3月6日	水	21:37:31	PT	60S	ワールド・スポーツ
CNNj	2024年3月7日	木	7:16:21	PT	60S	ザ・シチュエーション
CNNj	2024年3月9日	土	13:13:05	PT	60S	ローラ・コース



①CJPF LIVE : 04.全体の成果

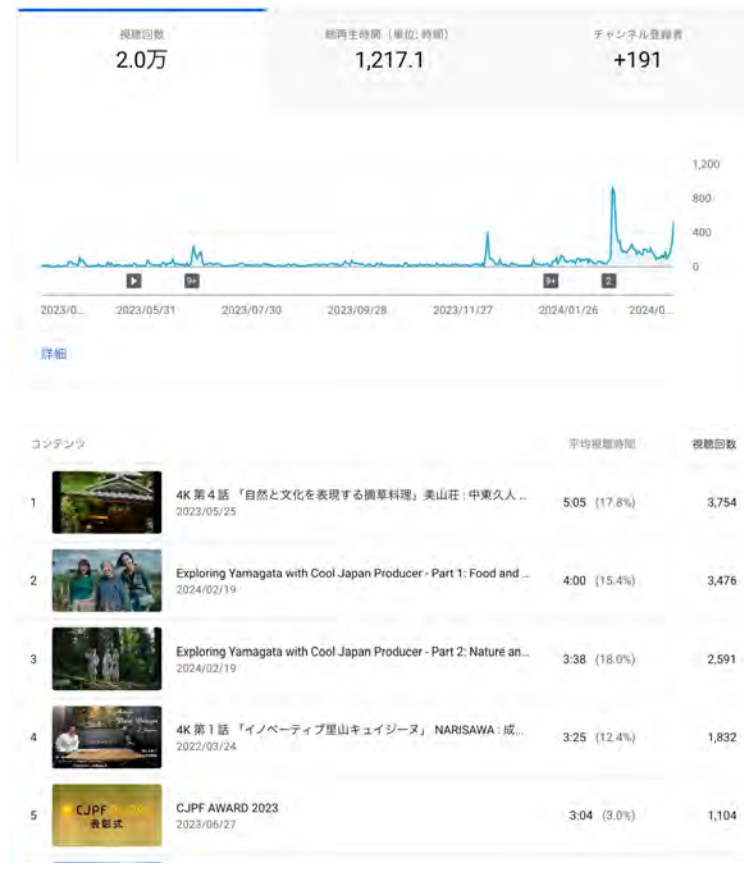
- ◆ 昨年度との比較で2倍程度の再生回数を実現している。
- ◆ コンテンツの「公開設定(すべてのYouTubeユーザから見える設定)」、山形・庄内を題材にしたキャラバンコンテンツの拡散が要因であると考えられる。

YouTube 再生回数の分析より

2022
年度



2023
年度



(1) CJPFにおける各種イベント等の企画・運営・評価に関する調査

①CJPF LIVE

②CJPF AWARD

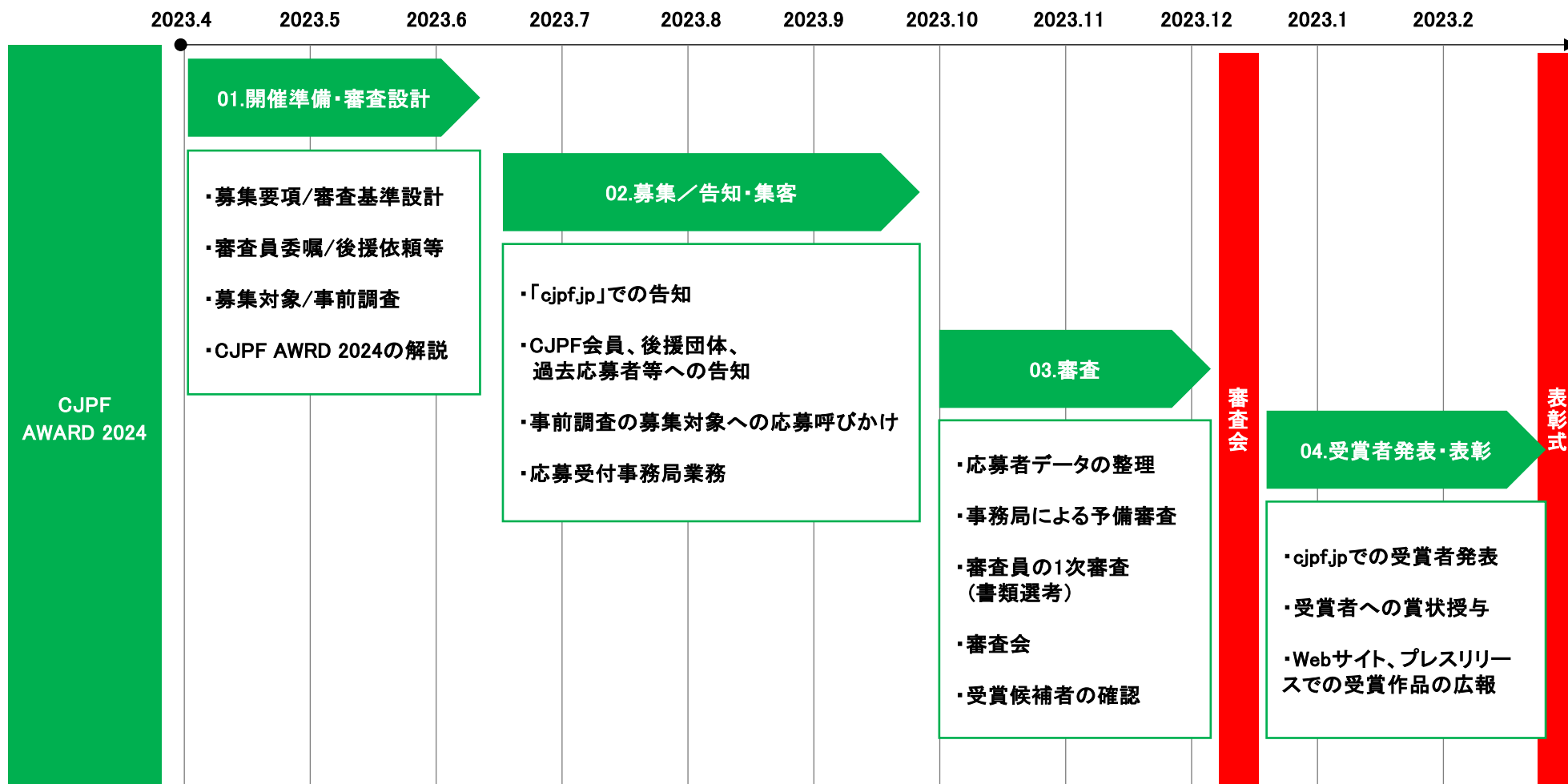
③CJPF AWARD – WOW! BASE

④CJPF RADIO



②CJPF AWARD : 01.開催準備・審査設計 1) 企画全体概要

◆ 令和5年度クールジャパン・プラットフォームアワード(クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務)に係る対象事例の収集、募集及び表彰式等の実施業務において、以下の企画及び実施を行った。



CJPF
AWARD 2024

審査会

表彰式



②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 2) 趣旨・応募概要

◆ 令和5年度クールジャパン・プラットフォームアワード(クールジャパン官民連携プラットフォーム活性化及び事例創出等におけるKGI/KPI策定調査業務)に係る実施業務において、対象事例の募集を行うため、アワードのタイトル、主旨文、募集要項等の作成を行った。

1

タイトル

クールジャパン・プラットフォームアワード2024(CJPF AWARD 2024)

2

主旨文

日本の魅力を発信するクールジャパンの取組を募集。ムービーとプロジェクト、2部門のグランプリを選出し表彰します。

※旧「クールジャパン動画コンテスト」と旧「クールジャパン・マッチングアワード」を統合して、CJPF AWARDとして開催します。

3

開催趣旨

新型コロナの影響が収束する中、インバウンドが回復し、農林水産品や日本産酒類の輸出が増加するとともに、日本のアニメが世界中で大ヒットするなど日本への関心が高まっています。このような状況において、クールジャパン官民連携プラットフォーム(CJPF)(※1)は、日本の魅力を海外に発信し、日本のファンを拡大するクールジャパン戦略(※2)を推進するために、「CJPFアワード 2024」を開催します。

※1:クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的として、2015年12月に官民・異業種連携の強化を図る場として設立されました。現在、コンテンツ産業や食品産業など様々な民間企業等が会員となっており、会員間やクールジャパン関係者とのマッチングを図り、新しい価値を創ったり、魅力を磨き上げることが求められています。2021年6月に開催された総会において、クールジャパンの様々な領域のなかでも、当面の活動として、「食・食文化」を中心としたプロジェクト運営などの方向性が示されました。

※2:「クールジャパン戦略」(2019年9月決定)「知的財産推進計画2021」における「クールジャパン戦略の再構築」(2021年7月決定)「知的財産推進計画2022」における「アフターコロナを見据えたクールジャパンの再起動」(2022年6月決定)「知的財産推進計画2023」における「クールジャパン戦略の本格稼働と進化」(2023年6月決定)02

4

募集案内

「CJPFアワード 2024」では、食・食文化や観光資源、ものづくりやコンテンツ(エンターテインメント、マンガ・アニメなど)、最先端のデジタル技術を駆使したものなど幅広い分野における日本の魅力を扱った、ムービー(動画)とプロジェクト(事業)の2つの部門の募集・表彰を行います。「ムービー(動画)部門」は、海外に向けて日本の魅力をストーリーとして発信するムービー、「プロジェクト部門」は、日本の魅力を外国人から共感の得られるストーリーとして展開する、海外展開やインバウンド向けのプロジェクト(事業)を募集します。応募の中から、「クールジャパン戦略」の取組としてふさわしい動画や事業を、それぞれ選出し、表彰します。

5

CJPF AWARDに関するお問い合わせ

CJPF AWARD 2024事務局 担当:北、園田、小林、小野打(おのうち)、長谷川、芦川 TEL:03-5544-9713 FAX:03-5544-9714 E-mail:cjpfaward@cjma.go.jp

6

主催

クールジャパン官民連携プラットフォームクールジャパン官民連携プラットフォーム(事務局:内閣府知的財産戦略推進事務局)平成27年12月に、官民・業種の垣根を超えた連携を行いクールジャパン戦略を推進するために設立。現在、多数の関係府省・関係機関、民間団体・民間企業・機関・個人が参加。各種情報共有やビジネスプロジェクト組成を後押ししています。



②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 3) ムービー部門の募集要項

ムービー部門

募集対象

海外に向けて日本の魅力をストーリーとして発信したムービー(動画)

(例)地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光などをストーリーにまとめ上げて、外国人に「日本のことをもっと知りたい」、「その地域に行ってみたい」と思わせるムービー(動画)など

応募条件

- 映像で食・食文化や観光資源等、ものづくり等の産業、コンテンツ等の文化などの日本の魅力を扱ったムービー(動画)であること。
- 外国語の使用、字幕の有無(音声の有無)など、発信の手法は問わないが、海外への発信(外国人視聴者)を想定した動画であること。
- 2020年以降に発表・公開された映像であること。
- 5分程度のムービー(動画)であること。過去に開催されたCJPFアワードならびにクールジャパン動画コンテストで入賞した作品の応募は不可。※複数作品で構成されたシリーズは、個別にご応募ください。

※募集締切(9月30日(土))以降に発表・公開予定のムービーは、データが完成済みの場合に限り応募可能です。

※既に公開が終了しているムービーについても応募可能です。

応募者の条件

- ムービー(動画)の製作者または権利者。
- 企業、行政機関、地方公共団体、各種団体、学校、個人等の所属は問いません。
- 同じ応募者による複数応募も可能です。
- プロジェクト部門に応募した取組の関連動画をムービー部門に応募することも可能です。

賞

- グランプリ:最も優れたムービー(動画)に授与いたします。
- 準グランプリ:グランプリに次いで優れたムービー(動画)に授与いたします。
- 優秀賞:新しい挑戦や独創性、視聴者をアクションに導く工夫等のいずれかが優れたムービー(動画)に授与いたします。
- 大阪・関西万博特別賞:大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」やコンセプトである「未来社会の実験場」と親和性が感じられるムービー(動画)に授与いたします。

募集期間

2023年6月20日(火)～9月30日(土)

応募方法

本サイト(<https://cjpgf.jp/award>)にて応募受付を行っております。下記のリンクより、応募フォームからご応募ください。



②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 3) ムービー部門の募集要項

ムービー部門 応募フォーム

「CJPFアワード2024」ムービー部門応募フォーム

ご応募は下記フォームへのご記入をお願いいたします。

※は必須項目です。

名称 ※	ムービーのタイトル： ※複数作品で構成されたシリーズは、個別のムービーごとに応募ください。
ムービーの概要 ※	分秒 分 秒 ※5分程度の動画を審査対象とします。 視聴可能なURL ※YouTube・自社WEBサイト等のムービーを視聴可能なURLをご記入ください。 ※複数記入可 記入例：YouTube ○○○○○○○○、自社WEBサイト ○○○○○○○○○○ ※既にWEB上での公開が終了しているムービー、アワード募集締切（9月30日(土)）以降に公開予定のムービーは、審査用にムービーのデータをご提出ください。大容量データ転送サービス等をご利用いただき、ダウンロードURLを上記記入欄がメールにてアワード事務局まで送付ください。
公開の時期	西暦 年 月 日 ※2020年以降に発表・公開された動画を審査対象とします。 既に公開が終了しているムービー、今後公開予定のムービーは、下記に公開時期・期間をご記入ください。 ※複数記入可 記入例：YouTube 2020年4月～現在、Weibo 2021年1月～12月、自社サイト 2022年4月～現在
ムービーの目的	<input type="checkbox"/> 海外展開 <input type="checkbox"/> インバウンド
ムービーで扱っている日本の魅力の分野 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 食・食文化等 <input type="checkbox"/> 農林水産品・食品の輸出 <input type="checkbox"/> 料理・飲食サービスの海外展開 <input type="checkbox"/> 訪日外国人向けの食の体験 <input type="checkbox"/> その他の食関連 <input type="checkbox"/> 観光資源等 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史・史跡 <input type="checkbox"/> 地場産業 <input type="checkbox"/> 地域文化 <input type="checkbox"/> 都市性 <input type="checkbox"/> 宿泊・交通・観光拠点施設 <input type="checkbox"/> 催事等 <input type="checkbox"/> その他の観光資源 <input type="checkbox"/> ものづくり・産業等 <input type="checkbox"/> 工芸等の伝統的なものづくりを含む各種製品の製造・販売 <input type="checkbox"/> サービス <input type="checkbox"/> ファッション・美容 <input type="checkbox"/> その他の産業 <input type="checkbox"/> コンテンツ・文化等 <input type="checkbox"/> 映画・音楽・ゲーム、出版等のコンテンツ <input type="checkbox"/> 伝統的な芸能や文化 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> イベント、体験型エンターテインメント <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> アート・デザイン <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他
視聴の成果	これまでの累計視聴回数 上記の発表・公開に使用した媒体 ※複数記入可 記入例：YouTube 1,000回、Weibo 700回、自社サイト 500回

ムービーのテーマ	ムービーのテーマや伝えたいこと (50文字以内)
日本の魅力の訴求	取り上げた日本の魅力と、それを伝えるためのストーリー性 (30文字以内：地域の自然を形作られた運河や歴史背景も含め表現したなど)
視聴対象者	視聴対象者の国・地域や属性 (30文字以内：例＝中国の富裕層、米国の若者層など)
視聴対象者に向けた工夫	外国人の目標に合わせるためにどのような工夫をしたか (30文字以内：外国人出演者を起用し、英語で語りかけた等)
応募者情報 ※	<p>応募者属性 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 自治体・公共団体 <input type="checkbox"/> その他の団体 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>応募者名 (企業・団体) ※個人での応募の場合は、氏名をご記入ください。</p> <p>担当者名 (個人名) ※個人での応募の場合は、記入不要です。</p> <p>部署・役職名 ※個人での応募の場合は、記入不要です。</p> <p>住所 〒 半角数字、ハイフン区切りで指定してください。 例) 160-0023 選択してください 番地まで明記してください。</p> <p>連絡先電話番号 半角数字、ハイフン区切りで指定してください。 例) 03-1234-5678</p> <p>メールアドレス メールアドレス (確認) 念のため、もう一度入力してください。</p>
大阪・関西万博に向けて	大阪・関西万博に向けた取組 (テーマ・コンセプトとの関連性等) やアピールポイントがあればご記入ください (100文字以内)
確認画面へ	
入力内容をご確認の上、直しければ送信ボタンを押してください。	



②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 4) プロジェクト部門の募集要項

プロジェクト部門

a	<p>募集対象 日本の魅力を外国人から共感を得られるストーリーとして展開する、海外展開やインバウンド向けプロジェクト(事業)</p>
b	<p>応募条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 食・食文化や観光資源等、ものづくり等の産業、コンテンツ等の文化などの幅広い日本の魅力を扱ったプロジェクト(事業)であること。 海外展開、インバウンド対応、海外への情報発信・広報など外国人を対象とした又は対象とする予定のプロジェクト(事業)であること。 ※現在は国内向けに展開しているものでも、海外展開やインバウンド向けに進めているプロジェクト(事業)も応募可能です。 2021年4月以降に実施されたプロジェクト(事業)であること。※2021年4月より前から現在まで継続的に実施されているプロジェクト(事業)も応募可能です。 販売等の営利事業、行政による広報等の非営利事業のいずれも応募は可能です。・過去に開催されたCJPFアワードならびにクールジャパン・マッチングアワードで入賞した作品の応募は不可。 分野・地域・官民・世代等を超えた連携は必須ではありませんが、連携によって効果を高めたプロジェクト(事業)の応募を推奨しています。連携がある場合、相手先名と連携により効果を高めた工夫を記入すること。
c	<p>応募者の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト(事業)の主体または関係者。 企業、行政機関、地方公共団体、各種団体、学校、個人等の所属は問いません。 同じ応募者による複数応募も可能です。 ムービー部門に応募した作品の関連事業をプロジェクト部門に応募することも可能です。
d	<p>賞</p> <ul style="list-style-type: none"> グランプリ:最も優れたムービー(動画)に授与いたします。 準グランプリ:グランプリに次いで優れたムービー(動画)に授与いたします。 優秀賞:新しい挑戦や独創性、視聴者をアクションに導く工夫等のいずれかが優れたムービー(動画)に授与いたします。 大阪・関西万博特別賞:大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」やコンセプトである「未来社会の実験場」と親和性が感じられるムービー(動画)に授与いたします。
e	<p>募集期間 2023年6月20日(火)～9月30日(土)</p>
f	<p>応募方法 本サイト(https://cjpgf.jp/award)にて応募受付を行っております。下記のリンクより、応募フォームからご応募ください。</p>

②CJPF AWARD：02.募集／告知・集客 4) プロジェクト部門の募集要項

プロジェクト部門 応募フォーム

「CJPFアワード2024」プロジェクト部門応募フォーム

ご応募は下記フォームへのご記入をお願いいたします。
※は必須項目です。

名称 ※	プロジェクトの名称
実施の時期・期間	西暦 [] 年 [] 月 (終了: [] 年 [] 月 ※現在終了済のプロジェクトのみ記入) ※2021年4月以降に実施されたプロジェクトであること。 ※2021年4月以前から現在まで継続的に実施されているプロジェクトも応募可能。
プロジェクトの目的	<input type="checkbox"/> 海外展開 <input type="checkbox"/> インバウンド ※現在は国内向けの展開であっても、海外展開、インバウンドを進めているプロジェクトも回答ください。
プロジェクトで扱っている日本の魅力の分野 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 食・食文化等 <input type="checkbox"/> 農林水産品・食品の輸出 <input type="checkbox"/> 料理・飲食サービスの海外展開 <input type="checkbox"/> 訪日外国人向けの食の体験 <input type="checkbox"/> その他の食関連 [] <input type="checkbox"/> 観光資源等 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史・史跡 <input type="checkbox"/> 地場産業 <input type="checkbox"/> 地域文化 <input type="checkbox"/> 都市性 <input type="checkbox"/> 宿泊・交通・観光拠点施設 <input type="checkbox"/> 催事等 <input type="checkbox"/> その他の観光資源 [] <input type="checkbox"/> ものづくり・産業等 <input type="checkbox"/> 工芸等の伝統的なものづくりを含む各種製品の製造・販売 <input type="checkbox"/> サービス <input type="checkbox"/> ファッション・美容 <input type="checkbox"/> その他の産業 [] <input type="checkbox"/> コンテンツ・文化等 <input type="checkbox"/> 映像・音楽・ゲーム・出版等のコンテンツ <input type="checkbox"/> 伝統的な芸能や文化 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> イベント・体験型エンターテインメント <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> アート・デザイン <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> その他 []
プロジェクト概要	プロジェクトの概要 (150文字以内)
アピールポイント	プロジェクトのPRポイント (100文字以内)
日本の魅力の訴求	プロジェクトで扱っている日本の魅力の特長とその価値を高めるための工夫 (150文字以内)
対象	対象者の国・地域や属性 (30文字以内: 例 = 中国の富裕層、米国の若者層など)
外国人目録	外国人の目標に合わせて共感を得るための工夫 (ストーリー・コンセプト) (150文字以内)
実績	世界(全体・特定の地域)に事業を展開した実績 (150文字以内: 販売数、利用・体験者数、売上金額、広報実績等)

提出資料	応募プロジェクトの企画書と視覚的に説明する資料データの添付 (最大10MBまで) 公開用ビジュアル資料データの添付 (最大10MBまで) :
	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません ※例: 事業計画(目的・目標・スケジュール・工程・ターゲット・開発等経緯、販売等経緯、広報等) 製品・イベント等の写真、図表、会社概要 等 ※1～20ページの範囲に収めてください。 データが10MBを超える場合、外部のファイル転送サービスをご利用の上、URLをご記入ください: []
応募者情報 ※	提出資料テンプレートのダウンロードはこちら ※画像やテキストを記載いただくためのテンプレート (PowerPoint) をご用意しております。テンプレートの利用は必須ではありません。既存の資料についても提出いただけます。
	応募者属性 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 自治体・公共団体 <input type="checkbox"/> その他の団体 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他 []
	応募者名 (企業・団体) ※個人での応募の場合は、氏名をご記入ください。 []
	担当者名 (個人名) []
	部署・役職名 ※個人での応募の場合は、記入不要です。 []
住所 [] 〒 [] ※半角数字、ハイフン区切りで指定してください。 例) 160-0023 [] ※半角数字、ハイフン区切りで指定してください。 例) 03-1234-5678	
連絡先電話番号 [] ※半角数字、ハイフン区切りで指定してください。 例) 03-1234-5678	
メールアドレス [] メールアドレス (確認) [] ※念のため、もう一度入力してください。	
以下に該当する内容があればご記入ください (任意)	
大阪・関西万博に向けて	大阪・関西万博に向けた取組 (テーマ・コンセプトとの関連性、SDGs達成への寄与、「共創」する取組み等) やアピールポイントがあれば記入ください (150文字以内)
<input type="button" value="確認画面へ"/> 入力内容をご確認の上、直しければ送信ボタンを押してください。	



②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 5) 対象事例の募集、応募の促進

◆ 対象事例の募集は、本事業のWEBサイトを開設し、募集告知・応募受付を行うと同時に、募集告知のパンフレットを作成・配布。応募の促進の方法として、調査・収集した対象事例への応募案内、リリース発信によるメディアを通じた告知等、下記の施策を実施した。

チャンネル名	実施概要	結果
PR TIMES①	CJPF AWARD実施のお知らせを掲載。	一般メディア等に対して認知拡大を実現。過去最大のプレスリリースのPV、cjpg.jpのPVを記録した。
PR TIMES②	CJPF AWARD審査員決定のお知らせを追加掲載。	
じゃらんリサーチセンター メルマガ	じゃらんリサーチセンターに登録されている自治体・企業等へ、メルマガジンにて応募促進を実施。	観光に携わる自治体・企業、広くアプローチすることが出来た。
CJマッチングアワード過去応募者へのメール通知	昨年度以前のCJマッチングアワードに応募された企業・団体に対する応募促進を実施。	過去の応募者から、続編やブラッシュアップされた案件の応募につなげることができた。
CJPF会員へのメール通知	CJPF会員様に対して、応募促進を実施。	CJPF会員様の関与する団体等の取組をご紹介いただき、応募につなげることが出来た。
エリアプロデューサー連携	弊社のエリアプロデューサーに対して、案件があれば応募依頼。	自治体と直接接点を持っている弊社のリソースを活用することで応募につなげることが出来た。また、入賞レベルの案件にも個別接触を実現できた。
広域連携DMOアプローチ	広域連携DMOへの個別アプローチ。	観光に携わるDMO、自治体・企業、広くアプローチすることが出来た。
個別アプローチ	PR TIMES、YouTubeなどからCJPFに資する取組を収集し、応募を個別に促進。	CJPF AWARDの開催趣旨に沿った取組を効率的に収集することが出来た。

②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 5) 対象事例の募集、応募の促進

◆ 本事業の募集WEBサイトは以下の通り。

WEBサイト



②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 5) 対象事例の募集、応募の促進

◆ CJPF AWARDの募集パンフレットを作成。CJPF会員及び、後援団体、事業者に向けて応募を呼びかけた。

パンフレット

表紙



中面



②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 5) 対象事例の募集、応募の促進

◆ 前頁に記載した、PR TIMESおよび、じゃらんリサーチセンターメルマガの告知は以下の通り。

PR TIMES



「日本の魅力を発信するクールジャパン戦略」を推進し、「CJPFアワード2024」を開催します。

「CJPFアワード2024」は、日本の魅力を発信し、海外に日本の魅力を伝えることを目的として、毎年開催されています。今年も、海外からの観光客やビジネス客に日本の魅力を伝えるための取り組みとして、CJPFアワード2024を開催します。

今年度のCJPFアワードは、以下のテーマで開催されます。

- ・食文化や観光資源、ものづくりやコンテンツ（エンターテインメント、マンガ、アニメなど）、最先端のデジタル技術を活用したものなど幅広い分野における日本の魅力を扱った、ムービー（動画）とプロジェクト（事業）の2つの部門における募集を行います。



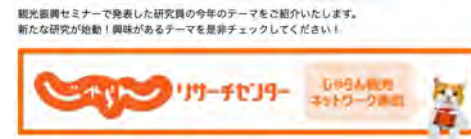
「日本の魅力を発信するクールジャパン戦略」を推進し、「CJPFアワード2024」を開催します。

「CJPFアワード2024」は、日本の魅力を発信し、海外に日本の魅力を伝えることを目的として、毎年開催されています。今年も、海外からの観光客やビジネス客に日本の魅力を伝えるための取り組みとして、CJPFアワード2024を開催します。

今年度のCJPFアワードは、以下のテーマで開催されます。

- ・食文化や観光資源、ものづくりやコンテンツ（エンターテインメント、マンガ、アニメなど）、最先端のデジタル技術を活用したものなど幅広い分野における日本の魅力を扱った、ムービー（動画）とプロジェクト（事業）の2つの部門における募集を行います。

じゃらんリサーチセンターメルマガ



「じゃらん観光ネットワーク第219号」
●配信停止をご希望の方は、本メール最後をご覧ください。
株式会社リクルートコミュニケーションズ
藤田 唯一様
【JKN会員番号：053948】
こんにちは。JRC研究員の長野 瑞穂です。
JRC研究チームは、様々なテーマに対して各研究員が活動しています。研究の進捗共有など随時メルマガでも発信していきますので、是非お読みください。
新たな研究員も加わった今年度のじゃらんリサーチセンター。只今始まる中の観光振興セミナーで昨年度の研究成果を発表していますが、各研究員の今年の研究＆取組みテーマをご紹介します。
『この研究テーマについて質問してみたい』『こんなポイントを特筆してほしい』など気軽に意見いただけますと幸いです。

【日本各地の皆様からの応募を是非お待ちしております！】
“日本の魅力を海外に発信するクールジャパンの取組”を募集・表彰する、「CJPFアワード2024」を開催します。

内閣府のクールジャパン官民連携プラットフォーム（CJPF）は、日本の魅力を海外に発信し、日本のファンを拡大するクールジャパン戦略を推進するため、今年度も「CJPFアワード2024」を開催します。
食・食文化や観光資源、ものづくりやコンテンツ（エンターテインメント、マンガ、アニメなど）、最先端のデジタル技術を活用したものなど幅広い分野における日本の魅力を扱った、ムービー（動画）とプロジェクト（事業）の2つの部門における募集を行います。

詳細は、以下の募集サイトをご覧ください。
＜CJPFアワード2024募集サイト＞
<https://cjpfa.com/award/>
＜CJPFアワード2023の名実賞や調評＞
<https://cjpfa.com/award2023-result/>
たくさんのご応募をお待ちしておりますので是非よろしくお願いたします。

②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 5) 対象事例の募集、応募の促進

- ◆ 事務局より、後援団体に告知協力を依頼し、後援団体会員等に募集案内を行っていただいた。
- ◆ 知財事務局より、クールジャパン官民連携プラットフォーム構成団体に告知協力を依頼し、後援団体会員等に募集案内を行っていただいた。

後援団体

団体名	協力内容
独立行政法人日本貿易振興機構	・ 会員等に募集案内発信の協力
特定非営利活動法人映像産業振興機構	・ メールニュースにて募集案内を発信
日本商工会議所	・ 日本商工会議所HPにて募集案内を掲載
東京商工会議所	・ メールマガジンにて募集案内を発信
株式会社海外需要開拓支援機構	・ 会員等に募集案内発信の協力
一般社団法人日本旅行業協会	・ 会員等に募集案内発信の協力



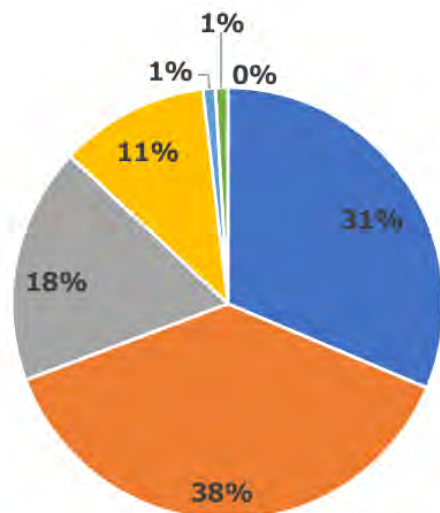


②CJPF AWARD : 02.募集／告知・集客 6) 応募の結果

ムービー部門 応募件数

各数値	ムービー
応募数総計	294件

- ・行政/DMO様からの応募割合に増加が見られた。
- ・学校や学生も見られ、企業の割合も微増。



CJPF AWARD 2024

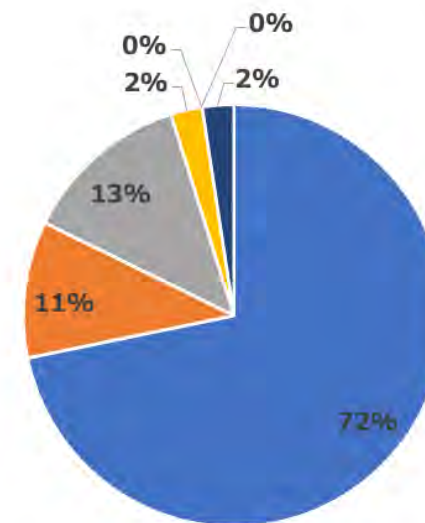
ムービー部門

- 企業
- 自治体・公共団体
- その他の団体
- 個人
- 学生
- 学校
- その他

プロジェクト部門 応募件数

各数値	プロジェクト
応募数総計	112件

- ・行政/DMO様からの応募割合に増加が見られた。
- ・個人からの応募も増加しており、企業や行政以外が推進するプロジェクトの応募もあった。



CJPF AWARD 2024

プロジェクト部門

- 企業
- 自治体・公共団体
- その他の団体
- 個人
- 学生
- 学校
- その他



②CJPF AWARD : 03.審査 1) 審査員への依頼

◆ 貴局により、2部門に対し各6名の審査員を選定。ムービー部門に関してはクリス・グレン氏、城宝薫氏を新任。本業務では、審査員への依頼及び連絡調整と、事務局審査から審査員の書面審査、審査会の実施、受賞事例の選定、贈賞を行った。

ムービー部門 審査員

氏名(敬称略)	所属・役職
渡邊賢一	クールジャパン官民連携プラットフォーム(CJPF)ディレクター 京都芸術大学 客員教授/慶應義塾大学大学院 SDM研究所 研究員
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役 ラジオDJ/インバウンド観光アドバイザー
佐藤一毅	国際オタクイベント協会 代表、Circle.ms 代表
城宝薫	株式会社テーブルクロス CEO
ダコスタ・レティシア	Japan Experience株式会社 プロダクト・マネージャー
牧野友衛	一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事 日本政府観光局(JNTO)デジタル戦略アドバイザー

プロジェクト部門 審査員

氏名(敬称略)	所属・役職
夏野剛(委員長)	近畿大学 特別招聘教授 情報学研究所長
梅澤高明	A.T. カーニー 日本法人会長 CIC Japan 会長
楠本修二郎	カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
ローレン・ローズ・コーカー	Vegas PR Group 代表
コチュ・オヤ	株式会社Oyraa 代表取締役社長
山田早輝子	国際ガストロノミー学会 日本代表 株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長

山田早輝子(敬称略)



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長

山田早輝子(敬称略)



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長

山田早輝子(敬称略)



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長

山田早輝子(敬称略)



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



山田早輝子
国際ガストロノミー学会 日本代表
株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長



②CJPF AWARD : 03.審査 1) 審査員への依頼

◆ 審査員依頼内容は以下の通り。事務局を通じて直接依頼を行い、継続ご依頼の審査員・新規ご依頼の審査員含め全員から快諾いただくことができた。

審査員への依頼メール

審査員への委嘱状

題目は「CJPFアワード2023(クールジャパン・プラットフォームアワード)」にてアワード審査委員をお願いいただき、誠にありがとうございました。
本年度も「クールジャパン官民連携プラットフォーム」事業の一環として、アワードの開催が決まり、内閣府から委託を受けた株式会社リクルートのもとで、弊社が事務局窓口を務めることとなりました。

本年度のアワードは、昨年度に引き続き「ムービー部門」と「プロジェクト部門」の二部門に分けて開催いたします。つきましては、選考後は、「ムービー部門」審査委員にご就任頂きたく、連絡を差し上げました。

下記にて参加事項の詳細についてご確認をお願いいたします。

●「審査員二次(個人書面採点)審査」の採点

本アワードは、令和5年8月20日(火)～9月30日(土)の期間にてムービー・プロジェクトの募集を行っております。
応募の締切後、11月上旬に、審査員の皆さまに向け、採点用シートならびにムービーの評価資料一式をお送り致します。

審査員の皆さまによる書面採点の期間は、11月上旬～下旬の教養期間にて設定させていただければと考えております。具体的な日程については、採点用の資料一式を送付させていただく際にお伝えさせていただければと存じます。

●「審査会」へのご出席

12月前半に開催を予定しております「審査会」にご出席をお願いいたします。

日程詳細は別添で、下記候補日程のうち、

ご出席可能な候補日程をいくつかご返信くださいとさせていただきます。

- 12月4日(月)
- 12月5日(火)
- 12月9日(金)
- 12月7日(木)
- 12月11日(月)
- 12月12日(火)
- 12月13日(水)
- 12月15日(金)

※出席期間は、事前または午後2時以降を希望

※審査員のリアル参加はご希望を予定

※会場は都心の会場を予定

●「表彰式」に関して

令和5年1月～2月頃にアワード受賞者への表彰を予定しております。

本年度の表彰は大抵室での実施を検討しており、LIVE形式での実施は未定となるため、

審査員の皆さまのご参加につきましては後日検討状況に応じて後日ご報告させていただきますと存じます。

添付にて、依頼状、委嘱状をお送りいたします。

ご査収、ご確認をお願いいたします。

【添付内容】

- ・CJPFアワード2024 委嘱状 (PDF)
- ・CJPFアワード2024 依頼状 (PDF)
- ・CJPFアワード2024ムービー部門書面審査票 (PDF)

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご確認のうえ、

審査委員ご就任についてお返事をいただきたく、よろしくお願ひ致します。

令和5年7月10日

内閣府知的財産戦略推進事務局
株式会社 リクルート 旅行 Division 地域創造部
株式会社 ヒューマンメディア

「CJPFアワード2024」ムービー(動画)部門
審査会の委員長委嘱状について

1. 職 名:
「CJPFアワード2024」
ムービー(動画)部門審査会 委員長

2. 従事内容及び責任:
内閣府知的財産戦略推進事務局の委託事業により株式会社 リクルート 旅行 Division 地域創造部と、そのもとで株式会社ヒューマンメディアが実施する「CJPFアワード2024」において、以下の職務を遂行する。

1) 審査会への出席及び審査・評価等
公募により受け付けた「ムービー(動画)」について、審査及び評価を行い、審査会へ出席し、「CJPFアワード2024」受賞の「ムービー(動画)」を決定する。
なお、審査員所属企業等が応募者・連携先となる取組は、審査に当たり当該審査員は採点・評価を行わないこととする。

① 応募された「ムービー(動画)」の採点
審査資料(令和5年11月上旬に送付予定)をもとに応募された「ムービー(動画)」を評価し、評価結果を令和5年11月下旬(予定)までに事務局まで提出いただく。

② 審査会への出席
受賞者を決定するための審査会(令和5年12月4日(月)～15日(金)(予定)に1回の開催を予定)へ出席いただく。
なお、審査会への出席が困難な場合、事前に提出いただいた評価結果を審査会場で事務局より報告し、この職務を果たしたとすることとする。

※本年度の表彰式は大抵室での実施を検討しており、昨年度のLIVE形式での実施は未定であるため、後日状況においてご報告させていただきます。

3. 従事する場所:
内閣府の施設あるいは、都内会議室

4. 期 間: 令和5年7月 ～ 令和6年3月

5. 勤務態様: 期間中 審査会の約1回(1回当たり2～3時間)
※ 本年度実施する「CJPFアワード2024」では、全体表彰式を開催しない可能性がございます。予めご了承ください。

6. 担当者連絡先
CJPFアワード2024事務局
(株)リクルート 旅行 Division 地域創造部
担当: 北、園田、小林
(株)ヒューマンメディア
〒107-0052 東京都港区赤坂4-10-21 八幡ビル101
担当: 小野村(おののち)、長谷川、芦川
HP: <https://c.jpf.jp/award> メール: [c.jp\[award\]@jms.go.jp](mailto:c.jp[award]@jms.go.jp)
電話番号: 03-5544-9713 FAX: 03-5544-9714

以上



②CJPF AWARD : 03.審査 2) 本年度の審査方針

◆ 適切な審査を行うため、CJPFアワードの開催主旨を考慮し、事務局選考の目線を統一した。

開催主旨

「クールジャパン戦略」の取組として、食・食文化や観光資源、ものづくりやコンテンツ(エンターテインメント、マンガ・アニメなど)、最先端のデジタル技術を駆使したものなど幅広い分野における日本の魅力を扱った、ムービー(動画)とプロジェクト(事業)の2つの部門の募集・表彰を行う。

「CJPFアワード2024」

- ・海外に向けて日本の魅力をストーリーとして発信する「ムービー(動画)」
- ・日本の魅力を外国人から共感の得られるストーリーとして展開する、海外展開やインバウンド向けの「プロジェクト(事業)」の募集・表彰を通じて、新しいスタイルが広がる世界に向けたクールジャパンの知恵や実績の結集・共有から、クールジャパンの取組が加速されることを目指すと共に、来期以降の「コミュニティ強化」にも繋ぐ場とする。

日本の魅力

+

外国人目線

「ムービー(動画)」 部門	「プロジェクト(事業)」 部門
日本の魅力をサスティナブルなストーリーとして発信できている。	
日本全体や各地域の自然、文化、産業、食・食文化、観光などをストーリーにまとめ上げ、 外国人に「日本のことをもっと知りたい」、「その地域に行ってみよう」と思ってもらう。	事業者の創意工夫により、日本の魅力を外国人から共感を得られるストーリーとして展開する、 海外展開がインバウンドに対応するプロジェクト(事業)

適切な審査

【工数】

① 審査観点を極力、シンプルにする

【目線の統一】

② 審査員の判断基準のブレを極力なくす



→“**段階評価**”(結果を解釈しやすくする)の導入

【型化】

③ 新生CJPFアワードとしての採点の共通性を持たせる

→“**共通項目**”と、“**部門別項目**”の導入



②CJPF AWARD : 03.審査 2) 本年度の審査方針

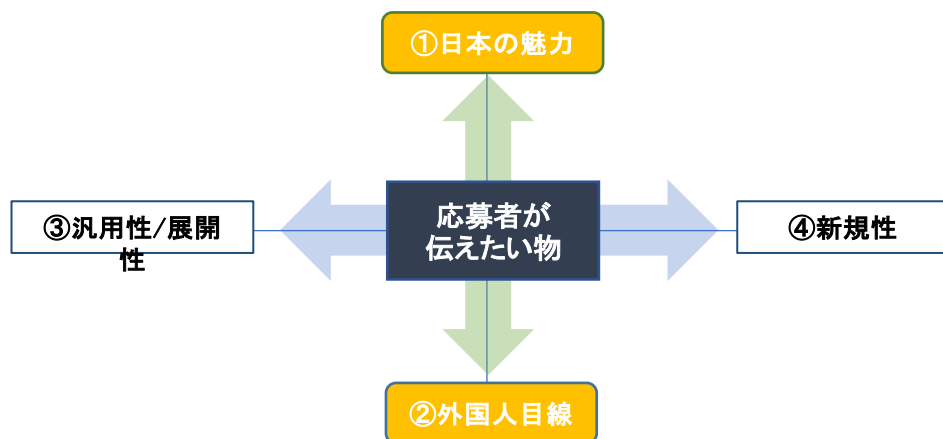
昨年度までの審査基準を再構築し、本年度の審査基準として4象限に分けて審査項目を設定した。

- ◆ Step1: 【縦軸】ムービー(動画)、プロジェクト(事業)、共通する、「日本の魅力」「外国人目線」をCJ要素としての共通軸とした。
【横軸】上記の上で、ムービー(動画)、プロジェクト(事業)の取組の、汎用性・新規性の要素をCJ要素としての共通軸とした。
- ◆ Step2: 上記の通り、ムービー(動画)、プロジェクト(事業)が持つそれぞれの、技術的・事業的要素を部門別の審査とした。

Step1 CJ要素としての審査

ムービー(動画)・プロジェクト(事業マッチング) 共通

●縦軸「魅力の訴求観点」、/ 横軸「ビジネス観点」



Step2 各部門観点での審査

ムービー(動画)・プロジェクト(事業マッチング) 別観点の例

ムービー(動画)ならではの技術的要素

【動画の制作技術】

- 1 (字幕やナレーションの有無ではなく)、編集の手法によりメッセージが伝わる内容となっているか
- 2 視聴者が次のアクションを起こすきっかけとなるような工夫やストーリーが感じられるか

【動画の企画力】

- ・応募対象物の魅力を伝えるための深さもしくは多角的な工夫がされているか

プロジェクト(事業)ならではの事業的要素

【プロジェクト(事業)の海外実績・影響度】

- 1 世界に伝えて、共感を得た実績があるか
- 2 今後、アウトバウンドやインバウンドの効果が期待できる取組か

【プロジェクトの企画力】

- 1 実施の過程で、その対象物の分野や特性等について掘り下げることができたか、もしくは多角的な工夫がなされていたか
- 2 強味を活かす連携が取れているか。
- 3 新たな価値の創造がされているか。



②CJPF AWARD : 03.審査 3) 事務局選考

◆ プロジェクト部門、ムービー部門共通の審査観点および、プロジェクト部門、ムービー部門それぞれの審査観点を用いて事務局審査を実施した。

ムービー部門 審査項目

大項目	項目	評価	
審査員採点 (25点満点)	日本の魅力の訴求観点	①日本の魅力をストーリーとして発信しているか	5 日本魅力を優れたストーリーとして発信している
			4 日本魅力を十分なストーリーとして発信している
			3 日本魅力をストーリーとして発信しているが、不足している
			2 日本魅力をストーリーとして発信していない
			1 日本魅力を発信していない
		②対象とする外国人の目線に合わせた独創的な表現で日本の魅力を伝えているか	5 対象とする外国人の目線に合わせた優れた独創的な表現で日本の魅力を伝えている
			4 対象とする外国人の目線に合わせた独創的な表現で日本の魅力を伝えている
			3 対象とする外国人の目線に合わせた表現で日本の魅力を伝えているが、独創的ではない
			2 対象とする外国人の目線に合わせた独創的な表現で日本の魅力を伝えられていない
			1 対象とする外国人の目線に合わせしていない
	③対象とする外国人の目線に合わせた言語・技術等の工夫があるか	5 対象とした外国人の目線に合わせた言語・技術等の優れた工夫がある	
		4 対象とした外国人の目線に合わせた言語・技術等の工夫が十分ある	
		3 対象とした外国人の目線を意識しているが、言語・技術等の工夫は不足している	
		2 対象とした外国人の目線を意識しているが、言語・技術等の工夫がない	
		1 対象とした外国人の目線になっていない	
ビジネス観点	④視聴者が次のアクションを起こすための工夫があるか	5 視聴者が次のアクションを起こすための優れた工夫がある	
		4 視聴者が次のアクションを起こすための工夫がある	
		3 視聴者にアクションを呼びかけてはいるが、不足している	
		2 視聴者にアクションを起こさせるメッセージがない	
		1 視聴者に何もメッセージが伝わらない	
未来視点	⑤映像で描いた内容は持続可能な発展の可能性はあるか	5 将来に向けて持続可能な展開の可能性は極めて高い	
		4 将来に向けて持続可能な展開の可能性はある	
		3 将来に向けた展開の可能性はあるが、持続性は十分ではない	
		2 将来的に向けた展開の持続可能性は乏しい	
		1 将来に向けた展開の可能性は見込めない	
合計		25	

プロジェクト部門 審査項目

大項目	項目	評価	
審査員採点 (25点満点)	日本の魅力の訴求観点	①日本の魅力に共感を得るための工夫 (ストーリー・コンセプト) があるか	5 扱っている日本の魅力に共感を得るための優れた工夫 (ストーリー・コンセプト) がある
			4 扱っている日本の魅力に共感を得るための工夫 (ストーリー・コンセプト) がある
			3 日本の魅力に共感を得るための工夫 (ストーリー・コンセプト) はあるが、不足している
			2 扱っている日本の魅力に共感を得るための工夫 (ストーリー・コンセプト) がない
			1 日本の魅力を扱っていない
		②対象とする外国人の目線に合わせた価値を高める工夫が優れており、効果があるか	5 対象とした外国人の目線に合わせた価値を高める工夫が優れており、効果がある
			4 対象とした外国人の目線に合わせた価値を高める工夫は十分にある
			3 対象とする外国人の目線を意識した価値を高める工夫はあるが、不足している
			2 対象とする外国人の目線を意識しているが、価値を高める工夫がない
			1 対象とする外国人の目線になっていない
	ビジネス観点	③海外・インバウンドからの売上やファンの拡大の実績があるか	5 海外・インバウンドからの売上やファンの拡大の極めて高い実績がある
			4 海外・インバウンドからの売上やファンの拡大の実績が十分にある、または予測できる
			3 海外・インバウンドからの売上やファンの拡大の実績がある、または大いに期待できる
			2 海外・インバウンドの実績はないが、期待できる
			1 海外・インバウンドの実績がない、期待もできない
未来視点	④事業の企画には新規性があり、将来に向けた発展や普及の可能性はあるか	5 新規性があり、将来に向けた発展や普及の可能性は極めて高い	
		4 新規性があり、将来に向けた発展や普及の可能性はある	
		3 将来に向けた発展や普及の可能性はあるが、新規性は十分ではない	
		2 新規性ならびに将来に向けた発展や普及の可能性は乏しい	
		1 新規性はなく、将来に向けた発展や普及の可能性は見込めない	
連携による効果	⑤分野・地域・事業者・官民・世代を超えた連携により①～④の効果を高めているか	5 連携によって①～④の多くの点で効果が高められている	
		4 連携によって①～④いずれかの点で効果が見込める	
		3 連携はあるが、効果は小さい	
		2 連携はあるが、効果はない	
		1 連携要素はない	
合計		25	

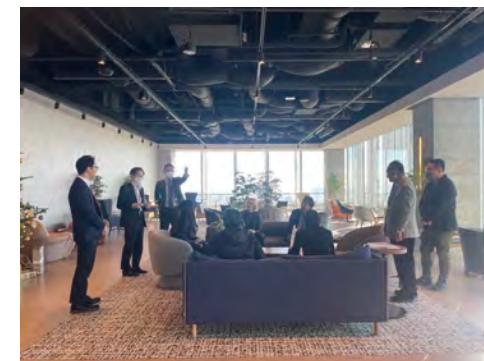


②CJPF AWARD : 03.審査 4) 審査会の実施

◆ 2023年12月4日(月)に、グラントウキョウサウスタワーにて、ムービー部門の審査会を実施した。

ムービー部門 審査員

氏名(敬称略)	所属・役職
渡邊賢一	クールジャパン官民連携プラットフォーム(CJPF) ディレクター 京都芸術大学 客員教授/慶應義塾大学大学院 SDM研究所 研究員
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役 ラジオDJ/インバウンド観光アドバイザー
佐藤一毅	国際オタクイベント協会 代表、Circle.ms 代表
城宝薫	株式会社テーブルクロス CEO
ダコスタ・レティシア	Japan Experience株式会社 プロダクト・マネージャー
牧野友衛	一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事、 日本政府観光局(JNTO) デジタル戦略アドバイザー





②CJPF AWARD : 03.審査 4) 審査会の実施

◆ ムービー部門は、事務局審査にて選定した35件の応募案件を対象に審査員審査を実施した。

ムービー部門 審査一覧

区分	応募No.	ムービー名	応募者名	採点 (25点満点)					合計	平均点	
				日本経済新聞社	日本経済新聞社	日本経済新聞社	日本経済新聞社	日本経済新聞社			
賞状	106	Sustainable Experience in Kyoto Miyama - EN	一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会	5	5	4	3	3	20	85	21.3
				5	5	5	5	5	25		
				4	4	4	4	4	20		
賞状	113	"露ROOTS OF JAPAN" 永源寺エリア 日本の原風景を訪ねて	龍濟宗永源寺派大本山 永源寺	4	3	4	4	4	19	77	19.3
				4	5	4	3	4	20		
				3	4	4	4	4	19		
賞状	156	Discover the Hidden Beauty of Sakura in Japan's 47 Prefectures / 日本全国47都道府県の桜 桜ドローンプロジェクト2022	桜ドローンプロジェクト/株式会社ドローンエンタテインメント	4	4	4	4	4	20	73	18.3
				4	3	4	4	4	19		
				4	4	3	3	3	17		
賞状	166	佐野ラーメンを世界へ！ SANO, No.1 Ramen Town In Japan! [English]	一般社団法人佐野市観光協会	5	5	5	5	5	25	67	22.3
				4	5	4	5	5	23		
				5	3	3	5	3	19		
賞状	8	Mt. Fuji Satoyama Vacation (Version2)	一般社団法人エコロジック	4	4	4	4	4	20	64	21.3
				5	5	5	5	5	25		
				4	3	3	4	5	19		
賞状	261	KIOKE SHOYU, A truly premium soy sauce ONLY in Japan 時を醸すひた	木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアム	5	4	5	4	4	22	60	20.0
				4	3	3	4	5	19		
				4	3	3	4	5	19		
賞状	225	Japan Travel/Mie Prefecture Higashikishu Promotion Video	(一社) 東紀州地域振興公社	5	5	4	4	4	22	59	19.7
				4	4	3	5	3	19		
				3	3	5	3	4	18		
賞状	9	Route 3776 - The challenge to oneself	ロンラ株式会社	4	5	4	4	3	20	59	19.7
				4	4	4	4	3	19		
				5	3	3	4	5	20		
賞状	23	Transparent Toilets In Tokyo (邦題: 東京の透明トイレ)	株式会社セカイスタジオ	5	4	4	4	2	19	56	18.7
				3	4	4	3	3	17		
				3	5	5	4	3	20		
賞状	229	[HAGOROMO] To all those who wish for peace	株式会社山井網羅事務所	4	4	4	4	4	20	53	17.7
				3	5	3	4	3	18		
				3	4	3	2	3	15		
賞状	160	Nine to Five in Paradise - YORON Island, Japan 与論島	与論町 81plus株式会社	5	4	4	5	3	21	52	17.3
				3	4	4	3	3	17		
				3	3	3	3	2	14		
賞状	196	Step into The Land of Aikido	株式会社 TABIKYO JAPAN	4	5	4	3	4	20	43	21.5
				5	5	4	4	5	23		
賞状	157	TOKYO Japan Cinematic Travel Video	アヤベックス株式会社	5	5	4	4	4	22	42	21.0
				4	5	5	3	3	20		
賞状	191	1学期の無 納豆汁小松屋 TSUKUDA 納豆汁 Food boiled in soy sauce Traditional Japanese Dried Food	PLAY TOKYO	4	4	3	4	4	19	42	21.0
				5	4	5	5	4	23		

賞状	66	アジノの監修! 松浦 プロフェッショナル映画 [English ver.] The Home of Aji Fry	松浦市役所	4	4	4	4	4	20	42	21.0
				5	3	5	5	4	22		
賞状	202	自然を味わい、自然を愉しむ。	佐藤大知	5	5	5	5	5	25	42	21.0
				3	5	3	3	3	17		
賞状	246	般若心経 (cho ver.) (2020 mix.) × 一休寺・京都 / 薬師寺寛邦 キョウコ - Japanese Zen Music	株式会社MUGENクリエイションズ	5	5	5	4	5	24	42	21.0
				5	4	3	2	4	18		
賞状	227	Sewage Works of Fukuoka City	福岡市	4	4	4	3	4	19	40	20.0
				4	4	4	4	5	21		
賞状	262	KIOKE SHOYU, rich in diversity 木桶醤油のテロワール	木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアム	3	4	4	5	5	21	40	20.0
				3	4	3	4	5	19		
賞状	258	北三陸から、世界の海を豊かにする。	株式会社北三陸ファクトリー	4	4	3	4	4	19	40	20.0
				5	4	5	3	4	21		
賞状	133	Harmony of Sake KOIMARI BREWERY	株式会社M Global Japan	4	4	5	4	4	21	39	19.5
				3	4	3	4	4	18		
賞状	131	The Art of 1000 years, Satoyama, Shobara Brand Movie Full movie	庄原観光推進機構	4	4	4	4	4	20	36	18.0
				5	3	3	2	3	16		
賞状	226	関ヶ原 3D合戦図屏風 3D Folding Screen of The Battle of Sekigahara	株式会社一旗	4	5	4	4	3	20	36	18.0
				3	3	4	3	3	16		
賞状	55	The future of fermented food culture in Akita	株式会社秋田放送	5	5	5	5	5	25	25	25.0
				5	5	5	5	4	24		
賞状	111	Sel de la vie -Traveling is the salt of life-	赤穂市	5	5	5	5	4	24	24	24.0
				5	5	5	4	5	22		
賞状	60	Habutae Tofu PV (English subs)	羽二重豆腐株式会社	3	5	5	4	5	22	22	22.0
				5	4	4	4	4	21		
賞状	87	豊後大野市プロモーション動画 BUNGOONO CITY, OITA JAPAN (30s) 4K	大分県豊後大野市	5	4	4	4	4	21	21	21.0
				5	4	4	4	4	21		
賞状	88	豊後大野市プロモーション動画 (英語字幕付き) BUNGOONO CITY, OITA JAPAN (Original) 4K	大分県豊後大野市	5	4	4	4	4	21	21	21.0
				5	4	4	4	4	21		
賞状	277	At the End of the Rainbow Video Series	株式会社クリエイティブアイ	5	5	5	3	3	21	21	21.0
				5	5	5	3	3	21		
賞状	213	Unique Experiences in Anta, SAGA	有田町	4	4	4	4	4	20	20	20.0
				4	4	4	4	4	20		
賞状	285	A Journey Through SHIKOKU	株式会社 IGL.OOO	4	5	4	4	3	20	20	20.0
				4	5	4	4	3	20		
賞状	211	[いのちのつな] 若狭のつなぎ職人 whispers of the stones wakasa agate craftsman	若狭工房	5	3	3	4	4	19	19	19.0
				5	3	3	4	4	19		
賞状	209	How about sending them special chopsticks?	小浜市	3	4	4	4	4	19	19	19.0
				3	4	4	4	4	19		
賞状	52	[Documentary] Wajima Urushi 輪島塗 on Wancher Dream Pen Japanese Craftsmanship English Subtitle.	株式会社ワンチャー	4	4	5	3	3	19	19	19.0
				4	4	5	3	3	19		
賞状	20	NIGATA GASTRONOMY	株式会社滝沢印刷	5	3	3	3	4	18	18	18.0
				5	3	3	3	4	18		



②CJPF AWARD : 03.審査 4) 審査会の実施

◆ 審査会は、審査員による書面審査の採点結果の集計資料や、応募映像等を用意し、下記の次第で、審査委員長の進行により行った。

ムービー部門 審査会 進行次第

CJPF アワード 2024 ムービー部門 審査会 進行次第

日時：令和5年12月4日（月）12時30分～15時00分
会場：グラントウキョウサウスタワー

1. 開会
 - (1) ご挨拶
 - (2) 審査委員の紹介
2. 審査
 - (1) 審査手順のご説明
 - (2) 書類審査結果の確認
 - ① 事務局から書類審査結果の発表
 - (3) 各賞の選考
 - ① 審査員自己紹介と評価観点
 - ② 各賞選考
 - ・グランプリ 2件（自治体・一般 各1件）
 - ・準グランプリ 1～2件程度
 - ・優秀賞 4件程度
3. 各賞の主旨
 - ・**グランプリ**（自治体等から1件、企業等から1件想定）
日本の魅力をストーリーとして発信しているか・対象となる外国人の目線に合わせた独創的な表現で日本の魅力を伝える新しい挑戦を行っているか・対象となる外国人の目線に合わせた言語や技術等の工夫があるか・視聴者が次のアクションを起こすための工夫があるか・将来に向けて持続可能な展開の可能性があるか、などの観点において、全ての評価が総合的に最も高いムービーに贈賞。
 - ・**準グランプリ**（1～2件程度）
グランプリに次いで評価が高い優良なムービーに贈賞。
（自治体等、企業等を半々想定、分野のバランスを考慮）
 - ・**優秀賞**（4件程度）
新しい挑戦や独創性、視聴者をアクションに導く工夫等のいずれかが優れたムービーに贈賞。（自治体等、企業等を半々想定、分野のバランスを考慮）

1

4. その他
 - ・受賞の取組の確認と発表について

【配布資料一覧】

- ・資料0. 審査会進行次第
- ・資料1. 審査会委員名簿
- ・資料2. 審査員書類審査結果
- ・資料3-(1). 審査結果集計（推薦数・得点集計・平均点）
- ・資料3-(2). 候補取組概要
- ・資料4. 採点基準表

2



②CJPF AWARD : 03.審査 4) 審査会の実施

◆ 審査会の結果、グランプリ2件、準グランプリ2件、優秀賞5件を選出した。

ムービー部門 受賞作品一覧

賞名	ムービー名	応募者名 (企業・団体)
グランプリ1	“源ROOTS OF JAPAN” 永源寺エリア 日本の原風景を訪ねて	臨済宗永源寺派大本山 永源寺
グランプリ2	The No.1 Ramen Town in Japan SANO	一般社団法人佐野市観光協会
準グランプリ1	MT. FUJI SATOYAMA VACATION & ECOTOURS (General Incorporated Organization of ECOLOGIC)	マウントフジ里山バケーション & エコツアーズ (一般社団法人エコロジック)
準グランプリ2	Sustainable Experience in Kyoto Miyama	一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会
優秀賞1	KIOKE SHOYU, A truly premium soy sauce ONLY in Japan 時を醸す人びと	一般社団法人 木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアム
優秀賞2	自然を味わい、自然を愉しむ。	佐藤大知
優秀賞3	世界が注目する東京の公共トイレ	株式会社セカイスタジオ
優秀賞4	Step into The Land of Aikido	株式会社TABIKYO JAPAN
優秀賞5	江戸前の味【季節の佃煮 柳ばし 小松屋】 Tsukudani : Traditional Japanese Preserved Food	PLAY TOKYO



②CJPF AWARD : 03.審査 4) 審査会の実施

◆ 2023年12月6日(水)に、グラントウキョウサウスタワーにて、プロジェクト部門の審査会を実施した。

プロジェクト部門 審査員

氏名(敬称略)	所属・役職
夏野剛(委員長)	近畿大学 特別招聘教授 情報学研究所長
梅澤高明	A.T. カーニー 日本法人会長 CIC Japan 会長
楠本修二郎	カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
ローレン・ローズ・コーカー	Vegas PR Group 代表
コチュ・オヤ	株式会社Oyraa 代表取締役社長
山田早輝子	国際ガストロノミー学会 日本代表 株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役社長

